平成２６年度

市民意識調査報告書

蕨市マスコットキャラクター「ワラビー」

蕨　　市

目次

調査の概要

１　目的 …… 1
２　調査内容 …… 1
３　調査方法 …… 1
４　回収結果 …… 1

調査の結果

【まちへの愛着】

問１　「自分のまち」としての愛着 …… 2
問２　愛着を感じている理由 …… 4

【永住意識】

問３　永住意識 …… 6
問４　住みたいと思う理由 …… 8
問５　住みたいと思わない理由 …… １２

【まちづくり】

＜防災について＞

問６　防災への備え …… １６
問７　災害発生時の情報取得 …… １８

＜子育てについて＞

問８　子育てのしやすさ …… １９
問９　子育てしやすいまちづくりのために大切なこと …… ２１

＜高齢期に大切なことについて＞

問１０　高齢期に大切なこと …… ２３
問１１　高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境 …… ２５

＜まちのにぎわいについて＞

問１２　商店街・大型店の利用頻度 …… ２７
問１３　商店街への要望 …… ２９

＜運動・スポーツについて＞

問１４　運動・スポーツの頻度 …… ３１
問１５　運動・スポーツの種類 …… ３３

＜ごみの減量化について＞
問１６　ごみの減量やリサイクルへの関心　……３５
問１７　ごみを減らすための取り組み……３６
＜市民活動について＞
問１８　地域等での活動（現在の状況、今後の意向）　……３７
問１９　地域等での活動の参加促進に必要なこと……３９
＜市民参加について＞
問２０　市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向……４１
＜協働のまちづくりについて＞
問２１　協働のまちづくりを進めるための行政の取り組み……４３
問２２　協働のまちづくりを進めるための市民の取り組み……４４
＜住宅用火災報知器の設置について＞
問２３　住宅用火災報知器の設置状況……４５
問２４　住宅用火災報知器の設置の経緯……４７
問２５　住宅用火災報知機を設置していない理由……４９
＜インターネットの利用について＞
問２６　インターネットの利用状況……５１
問２７　インターネットを利用する上での不安や不満……５２

【重点施策】
問２８　重点施策（重要度・満足度）……５４

回答者の属性

ア　地区　……６１
イ　性別　……６１
ウ　年齢層　……６１
エ　職業　……６２
オ　通勤・通学地　……６２
カ　住宅形態　……６２
キ　居住年数　……６３
ク　家族構成　……６３

調査の概要

1 目的

この調査は、まちの将来像「安心とにぎわい　みんなにあたたかい　日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指して、市民のまちづくりに対する意見や要望、満足度などを把握し、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していく上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査内容

1) まちへの愛着
2) 永住意識
3) まちづくり
   (ア) 防災について
   (イ) 子育てについて
   (ウ) 高齢期に大切なことについて
   (エ) まちのにぎわいについて
   (オ) 運動・スポーツについて
   (カ) ごみの減量化について
   (キ) 市民活動について
   (ク) 市民参加について
   (ケ) 協働のまちづくりについて
   (コ) 住宅用火災警報器の設置について
   (サ) インターネットの利用について
4) 重点施策

3 調査方法

1) 調査期間　平成26年7月30日から8月31日まで
2) 調査対象　市内在住の20歳以上の男女
3) 対象者数　1，000人
4) 抽出方法　住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出。
5) 調査方法　行政連絡員による送付、郵便による回答

4 回収結果

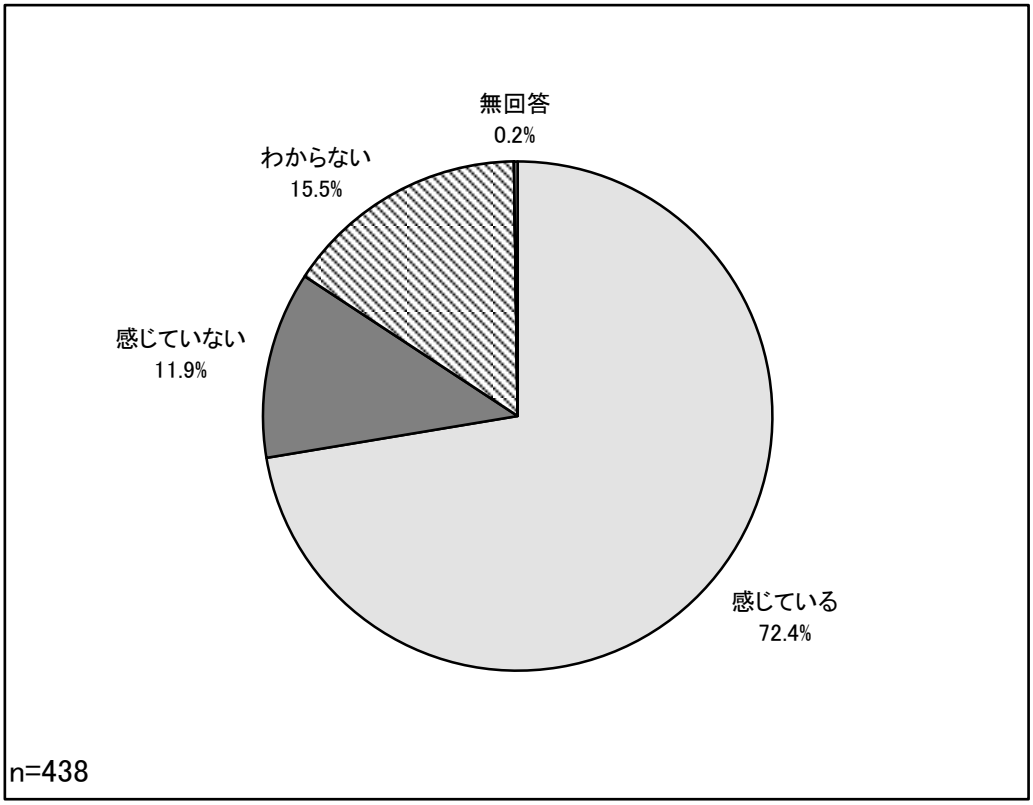
対象者1，000人に対し、438人から回答があり、回収率は43．8％。

調査の結果

【まちへの愛着】

問1　あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。（〇印は1つ）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
感じている	317	72.4%	1
感じていない	52	11.9%	3
わからない	68	15.5%	2
無回答	1	0.2%	

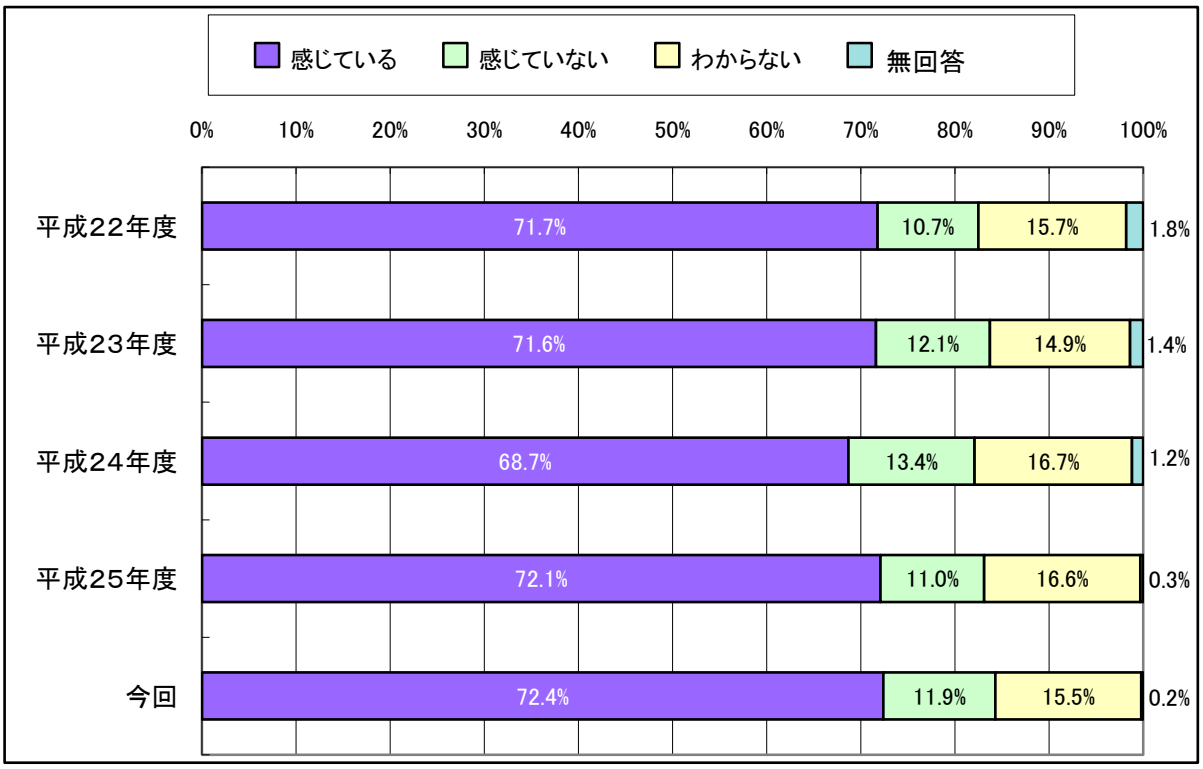


蕨市に自分のまちとしての愛着を感じている人は72.4％で、約7割の結果となっています。
一方、「感じていない」は11.9％、「わからない」は15.5％となっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、「感じている」の割合は、変動はあるものの、近年は70％前後で推移しています。

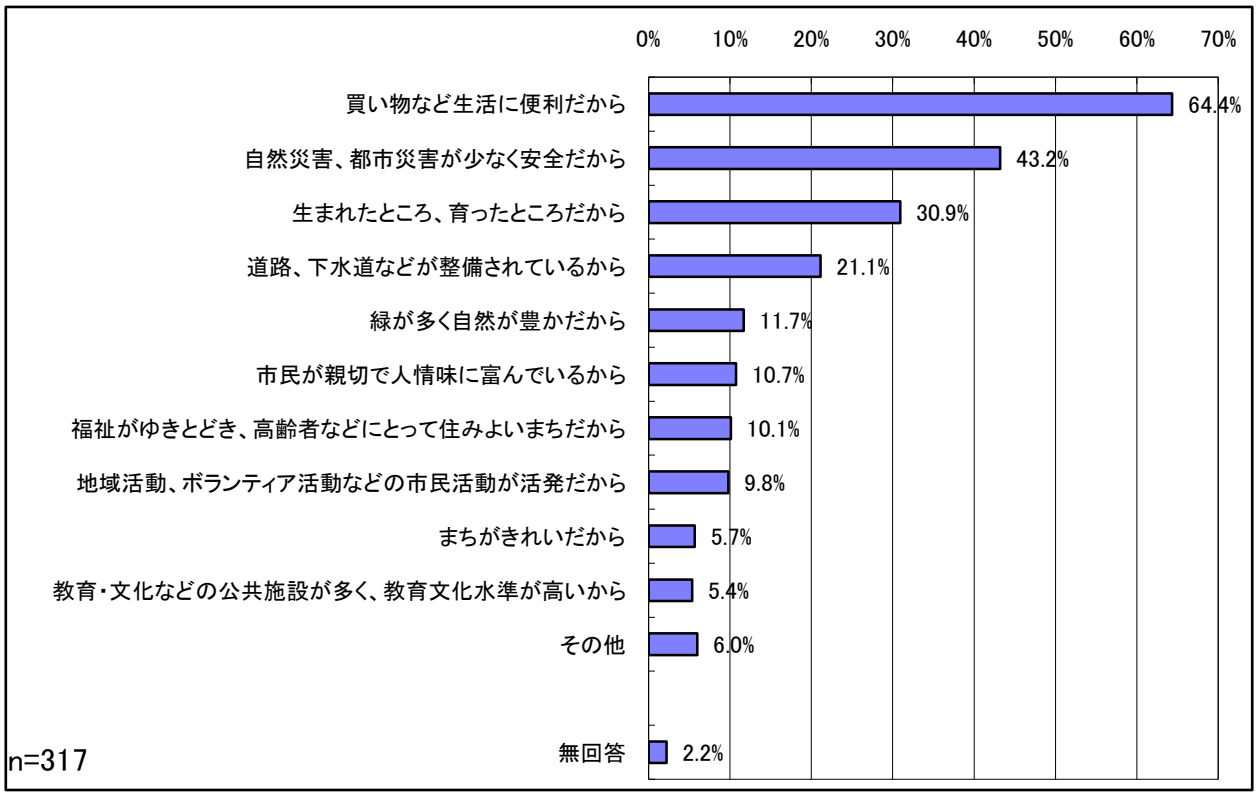
●まちへの愛着（平成22年度からの推移）



問1で「感じている」と答えた人のみ回答

問2　愛着を感じている理由はなんですか。（○印は3つ以内）

回答対象者：317人	件数	割合	順位
買い物など生活に便利だから	204	64.4%	1
自然災害、都市災害が少なく安全だから	137	43.2%	2
生まれたところ、育ったところだから	98	30.9%	3
道路、下水道などが整備されているから	67	21.1%	4
緑が多く自然が豊かだから	37	11.7%	5
市民が親切で人情味に富んでいるから	34	10.7%	6
福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	32	10.1%	7
地域活動、ボランティア活動などの市民活動が活発だから	31	9.8%	8
まちがきれいだから	18	5.7%	9
教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	17	5.4%	10
その他	19	6.0%	―
無回答	7	2.2%	



蕨市に自分のまちとしての愛着を感じていると答えた人に、その理由をたずねたところ、1位は「買い物など生活に便利だから」が64.4%、以下、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が43.2%、「生まれたところ、育ったところだから」が30.9%、「道路、下水道などが整備されているから」が21.1%と続いています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、1位の「買い物など生活に便利だから」が前回より大きく増加しました。また、前回は23.4％に減少した「生まれたところ、育ったところだから」が、今年度は30％台になりました。

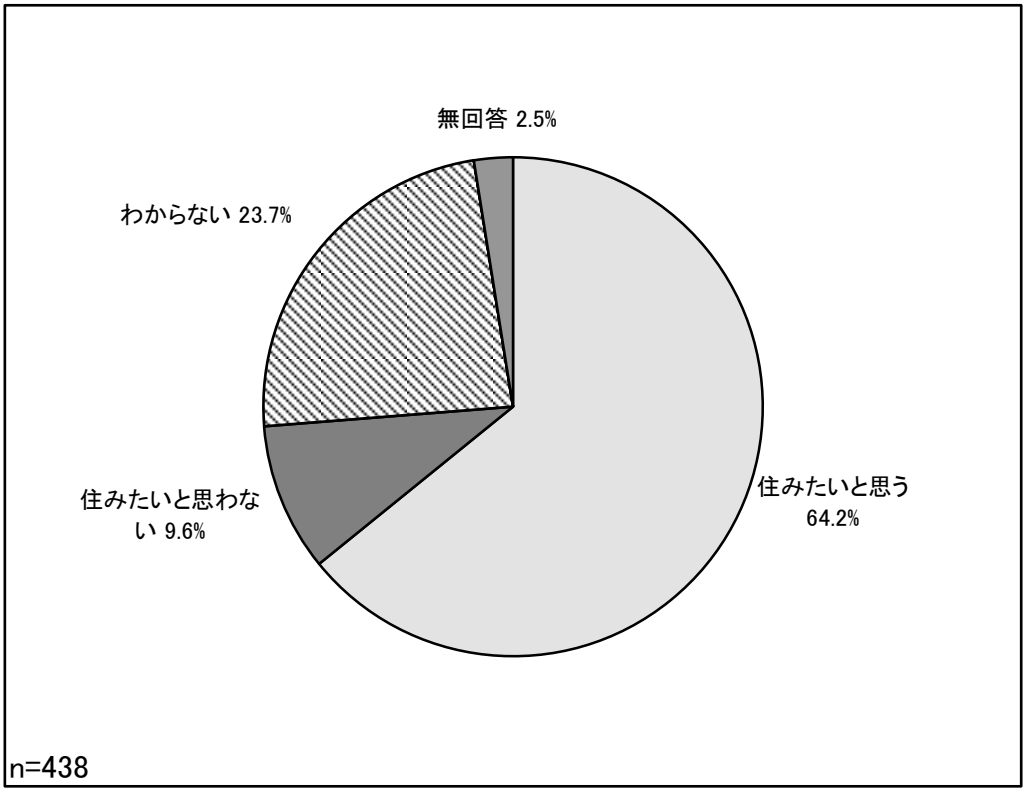
●愛着を感じている理由上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	買い物など生活に便利だから 56.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 33.2%	生まれたところ、育ったところだから 31.8%	道路、上下水道などが整備されているから 24.1%	市民が親切で人情味に富んでいるから 15.7%
平成23年度	買い物など生活に便利だから 59.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 35.1%	生まれたところ、育ったところだから 30.8%	道路、上下水道などが整備されているから 20.9%	緑が多く自然が豊かだから 13.2%
平成24年度	買い物など生活に便利だから 48.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 41.5%	生まれたところ、育ったところだから 33.0%	道路、上下水道などが整備されているから 24.0%	市民が親切で人情味に富んでいるから 14.1%
平成25年度	買い物など生活に便利だから 52.0%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 35.5%	道路、下水道などが整備されているから 23.8%	生まれたところ、育ったところだから 23.4%	市民が親切で人情味に富んでいるから 16.8%
今回	買い物など生活に便利だから 64.4%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 43.2%	生まれたところ、育ったところだから 30.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.1%	緑が多く自然が豊かだから 11.7%

【永住意識】

問3　あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。（〇印は1つ）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
住みたいと思う	281	64.2%	1
住みたいと思わない	42	9.6%	3
わからない	104	23.7%	2
無回答	11	2.5%	－

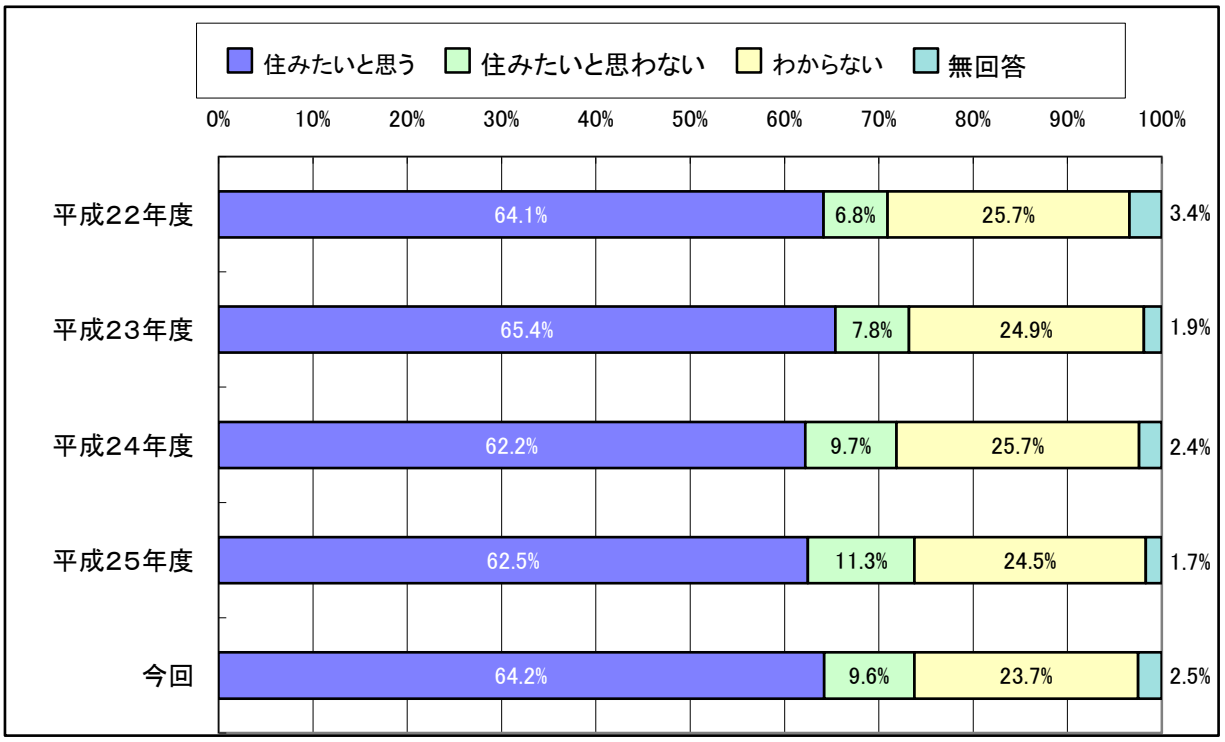


永住の意向についてたずねたところ、住みたいと思う人は64.2.%、住みたいと思わない人は9.6%となっています。
一方、23.7%の人が「わからない」と答えています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、「住みたいと思う」の割合が概ね60％台で推移しており、大きな変化はありません。

●永住意識（平成22年度からの推移）

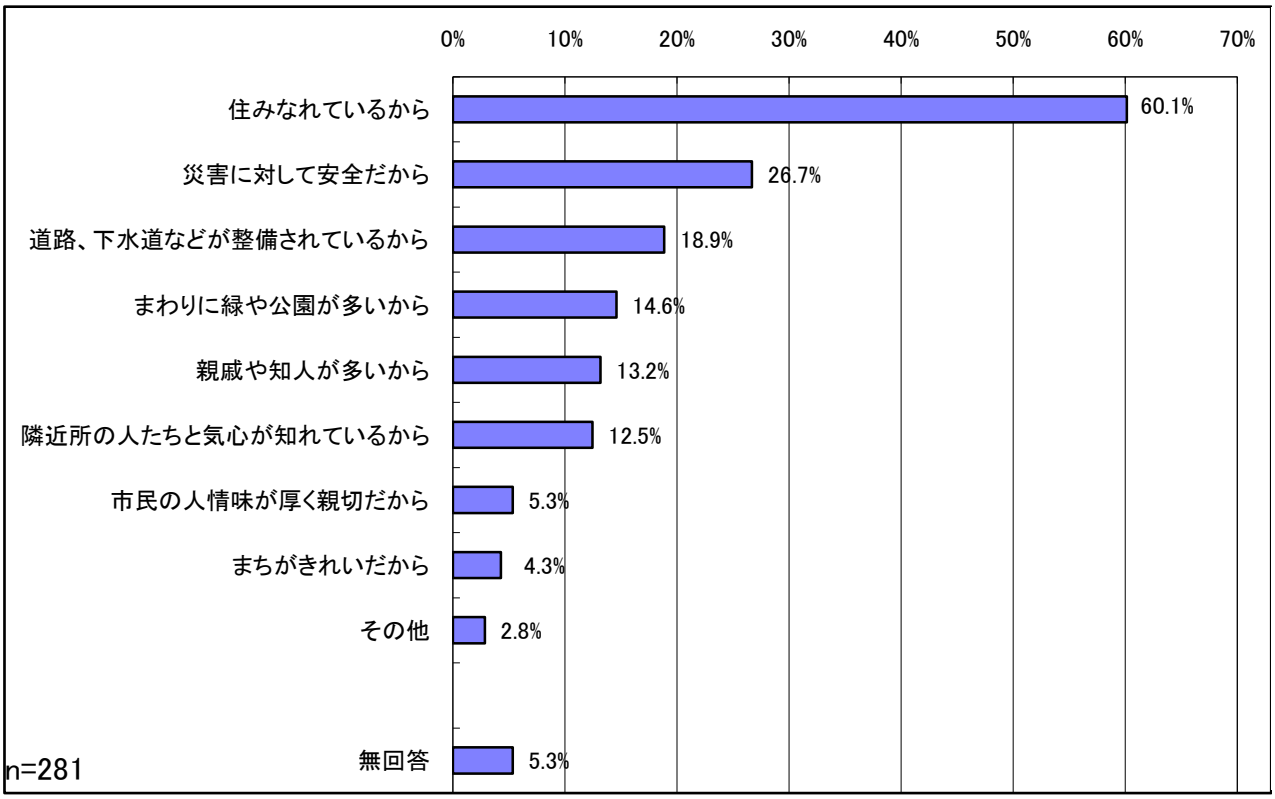


問3で「住みたいと思う」と答えた人のみ回答

問4 住みたいと思う理由はなんですか。最も近い理由を下欄の「環境上の理由」「生活上の理由」からそれぞれお選びください。（〇印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：281人	件数	割合	順位
住みなれているから	169	60.1%	1
災害に対して安全だから	75	26.7%	2
道路、下水道などが整備されているから	53	18.9%	3
まわりに緑や公園が多いから	41	14.6%	4
親戚や知人が多いから	37	13.2%	5
隣近所の人たちと気心が知れているから	35	12.5%	6
市民の人情味が厚く親切だから	15	5.3%	7
まちがきれいだから	12	4.3%	8
その他	8	2.8%	―
無回答	15	5.3%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「住みなれているから」が60.1％で最も多く、次いで「災害に対して安全だから」が26.7％「道路、下水道などが整備されているから」が18.9％と続いています。

＜経年変化＞

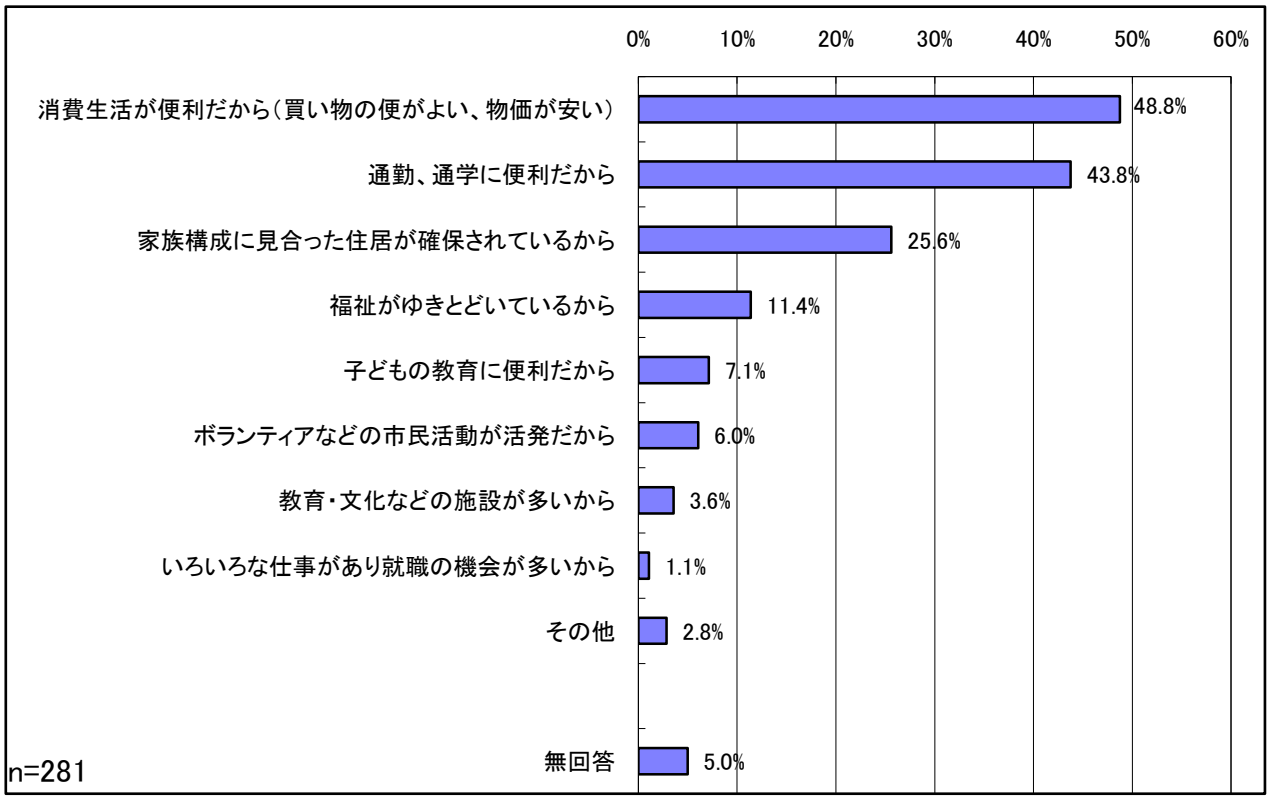
平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、前回50.9%に減少した「住みなれているから」が、今年度は60.1%に増加しています。また「災害に対して安全だから」が19.4%から26.7%と増加し順位も一つ上げて2位となっています。

●住みたいと思う環境上の理由 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	住みなれているから 61.2%	隣近所の人たちと気心が知れているから 21.6%	道路、下水道などが整備されているから 20.4%	親戚や知人が多いから 15.1%	まわりに緑や公園が多いから 14.3%
平成23年度	住みなれているから 60.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.4%	災害に対して安全だから 20.3%	隣近所の人たちと気心が知れているから 19.6%	親戚や知人が多いから 15.9%
平成24年度	住みなれているから 62.0%	道路、下水道などが整備されているから 23.4%	災害に対して安全だから 19.1%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.7%	まわりに緑や公園が多いから 15.4%
平成25年度	住みなれているから 50.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.6%	災害に対して安全だから 19.4%	隣近所の人たちと気心が知れているから 15.8%	まわりに緑や公園が多いから 14.4%
今回	住みなれているから 60.1%	災害に対して安全だから 26.7%	道路、下水道などが整備されているから 18.9%	まわりに緑や公園が多いから 14.6%	親戚や知人が多いから 13.2%

●生活上の理由

回答対象者:281人	件数	割合	順位
消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	137	48.8%	1
通勤、通学に便利だから	123	43.8%	2
家族構成に見合った住居が確保されているから	72	25.6%	3
福祉がゆきとどいているから	32	11.4%	4
子どもの教育に便利だから	20	7.1%	5
ボランティアなどの市民活動が活発だから	17	6.0%	6
教育・文化などの施設が多いから	10	3.6%	7
いろいろな仕事があり就職の機会が多いから	3	1.1%	8
その他	8	2.8%	―
無回答	14	5.0%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が便利だから」が48.8%ともっとも多く、次いで「通勤、通学に便利だから」が43.8%、「家族構成に見合った住居が確保されているから」が25.6%で上位となっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「消費生活が便利だから」が引き続き減少傾向にあります。

●住みたいと思う生活上の理由 上位5位（平成22年度からの推移）

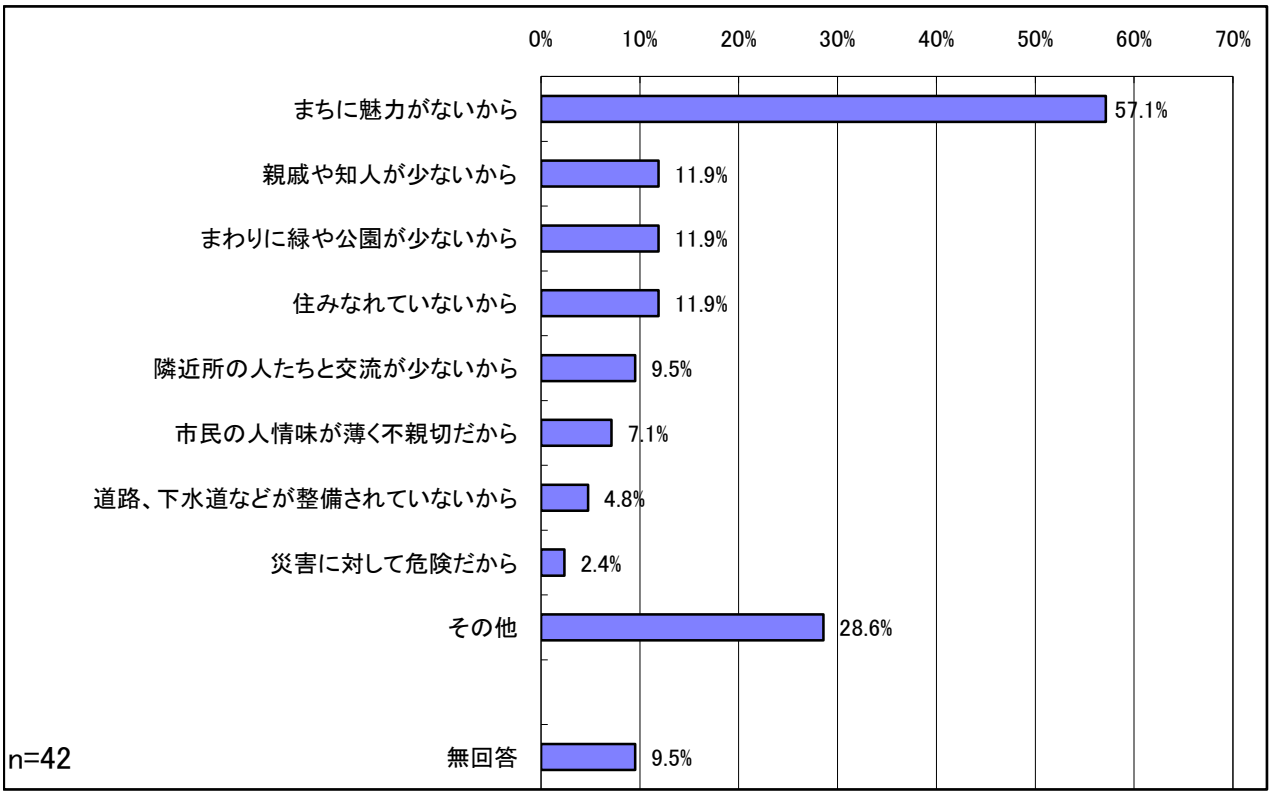
	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 61.6%	通勤、通学に便利だから 49.4%	家族構成に見合った住居が確保されているから 29.0%	福祉がゆきとどいているから 8.2%	教育・文化などの公共施設が多いから 4.5%
平成23年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 59.8%	通勤、通学に便利だから 48.6%	家族構成に見合った住居が確保されているから 25.0%	福祉がゆきとどいているから 9.1%	子どもの教育に便利だから 6.5%
平成24年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 57.4%	通勤、通学に便利だから 41.6%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.4%	福祉がゆきとどいているから 11.1%	教育・文化などの公共施設が多いから 7.2%
平成25年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 56.8%	通勤、通学に便利だから 37.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 22.1%	教育・文化などの公共施設が多いから 9.9%	福祉がゆきとどいているから 9.5%
今回	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 48.8%	通勤、通学に便利だから 43.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 25.6%	福祉がゆきとどいているから 11.4%	子どもの教育に便利だから 7.1%

問3で「住みたいと思わない」と答えた人のみ回答

問5 住みたいと思わない理由はなんですか。最も近い理由を下欄の「環境上の理由」「生活上の理由」からそれぞれお選びください。（〇印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：42人	件数	割合	順位
まちに魅力がないから	24	57.1%	1
親戚や知人が少ないから	5	11.9%	2
まわりに緑や公園が少ないから	5	11.9%	2
住みなれていないから	5	11.9%	2
隣近所の人たちと交流が少ないから	4	9.5%	5
市民の人情味が薄く不親切だから	3	7.1%	6
道路、下水道などが整備されていないから	2	4.8%	7
災害に対して危険だから	1	2.4%	8
その他	12	28.6%	―
無回答	4	9.5%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が57.1％と最も多く、次いで「親戚や知人が少ないから」、「まわりに緑や公園が少ないから」「住み慣れていないから」の3つが11.9%となっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、前回、20.0％で2位であった「災害に対して危険だから」が、今年度は上位5位から外れています。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

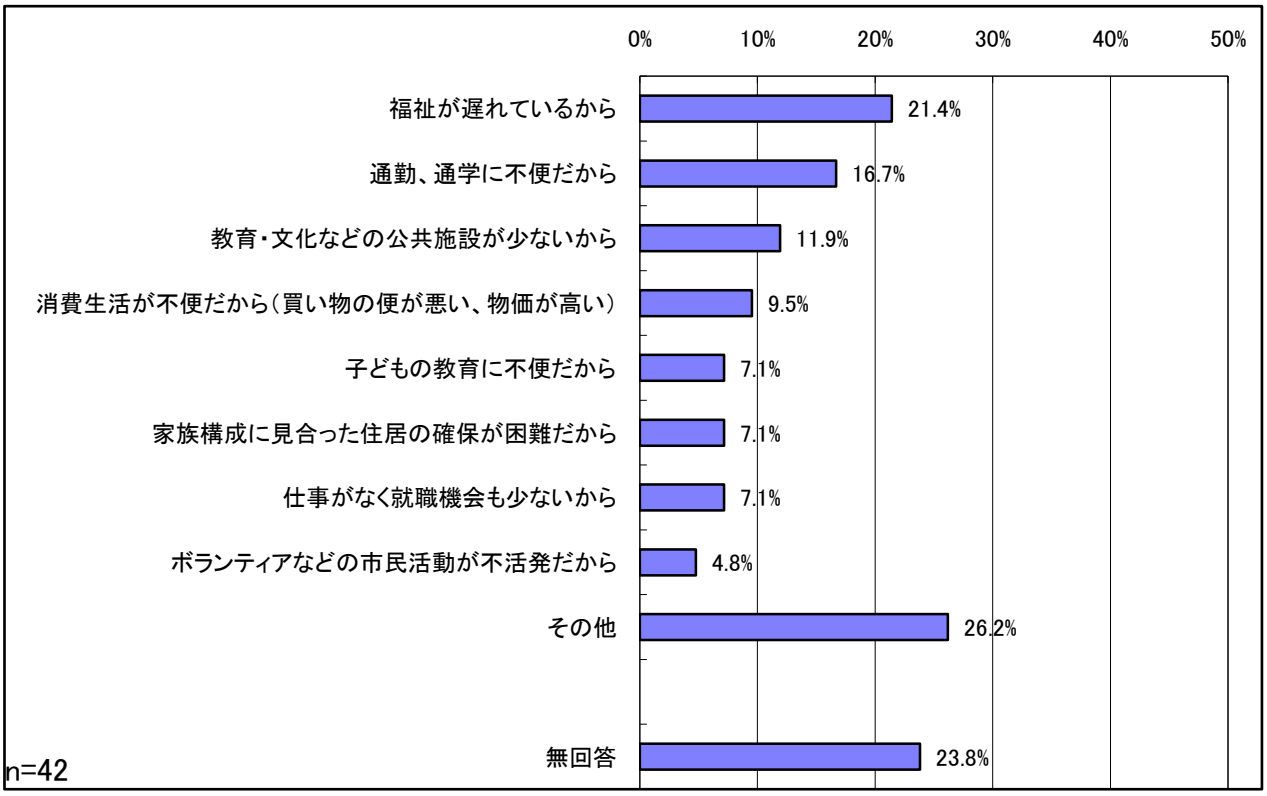
●住みたいと思わない環境上の理由 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	まちに魅力がないから 61.5%	まわりに緑や公園が少ないから 23.1%	親戚や知人が少ないから 15.4%	道路、下水道などが整備されていないから 住みなれていないから 7.7%	
平成23年度	まちに魅力がないから 57.6%	住みなれていないから 21.2%	親戚や知人が少ないから 15.2%	隣近所の人たちと交流が少ないから 9.1%	まわりに緑や公園が少ないから/道路、下水道などが整備されていないから/災害に対して危険だから 6.1%
平成24年度	まちに魅力がないから 55.8%	道路、下水道などが整備されていないから まわりに緑や公園が少ないから 12.6%		市民の人情味が薄く不親切だから 親戚や知人が少ないから 11.6%	
平成25年度	まちに魅力がないから 52.5%	災害に対して危険だから 20.0%	まわりに緑や公園が少ないから 17.5%	市民の人情味が薄く不親切だから 15.0%	親戚や知人が少ないから/隣近所の人たちと交流が少ないから 10.0%
今回	まちに魅力がないから 57.1%	親戚や知人が少ないから まわりに緑や公園が少ないから 住みなれていないから 11.9%			隣近所の人たちと交流が少ないから 9.5%

※「その他」は除く

●生活上の理由

回答対象者:42人	件数	割合	順位
福祉が遅れているから	9	21.4%	1
通勤、通学に不便だから	7	16.7%	2
教育・文化などの公共施設が少ないから	5	11.9%	3
消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)	4	9.5%	4
子どもの教育に不便だから	3	7.1%	5
家族構成に見合った住居の確保が困難だから	3	7.1%	5
仕事がなく就職機会も少ないから	3	7.1%	5
ボランティアなどの市民活動が不活発だから	2	4.8%	8
その他	11	26.2%	―
無回答	10	23.8%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「福祉が遅れているから」が21.4%で最も多く、次いで「通勤、通学に不便だから」が16.7%、「教育・文化などの公共施設が少ないから」が11.9%と続いています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、前回、上位5位から外れた「福祉が遅れているから」が今年度は21.4%で1位となっています。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

●住みたいと思わない生活上の理由 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 42.3%	福祉が遅れているから 23.1%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 19.2%	子どもの教育に不便だから 家族構成に見合った住居の確保が困難だから 15.4%	
平成23年度	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 24.2%	福祉が遅れているから 21.2%	教育・文化などの公共施設が少ないから 家族構成に見合った住居の確保が困難だから 18.2%		仕事がなく就職機会も少ないから 15.2%
平成24年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 24.2%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 20.0%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 通勤、通学に不便だから 18.9%		福祉が遅れているから 14.7%
平成25年度	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 27.5%	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.0%	子どもの教育に不便だから 17.5%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 12.5%	通勤、通学に不便だから 10.0%
今回	福祉が遅れているから 21.4%	通勤、通学に不便だから 16.7%	教育・文化などの公共施設が少ないから 11.9%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 9.5%	子どもの教育に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから／仕事がなく就職機会も少ないから 7.1%

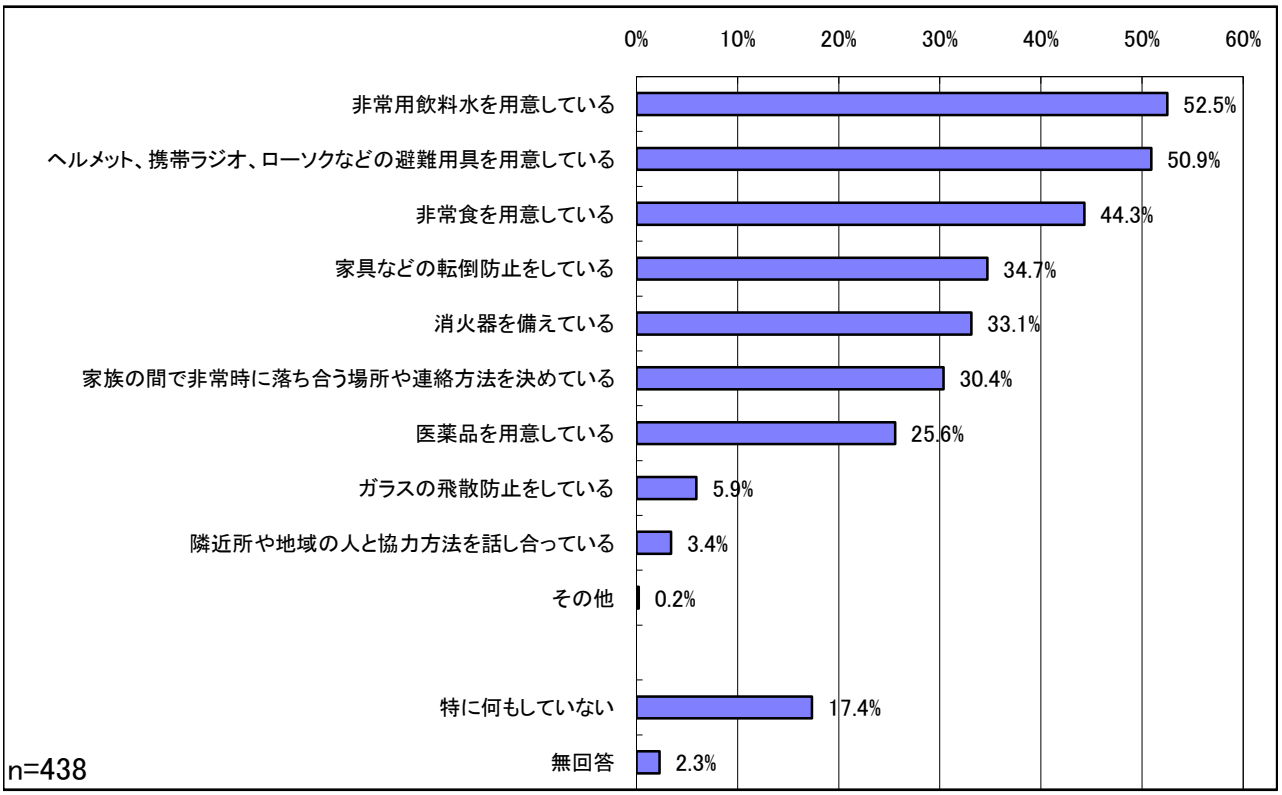
※「その他」は除く

【まちづくり】

＜防災について＞

問6　あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。
（〇印はいくつでも）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
非常用飲料水を用意している	230	52.5%	1
ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している	223	50.9%	2
非常食を用意している	194	44.3%	3
家具などの転倒防止をしている	152	34.7%	4
消火器を備えている	145	33.1%	5
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	133	30.4%	6
医薬品を用意している	112	25.6%	7
ガラスの飛散防止をしている	26	5.9%	8
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	15	3.4%	9
その他	1	0.2%	―
特に何もしていない	76	17.4%	
無回答	10	2.3%	



災害への備えについてたずねたところ、「非常用飲料水を用意している」が52.5%で最も多く、次いで「ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している」が50.9%、「非常食を用意している」が44.3%となっており、物品の備えに関することが上位になりました。

また、およそ80%の人が何らかの災害に対する備えをしていると回答しています。

＜経年変化＞

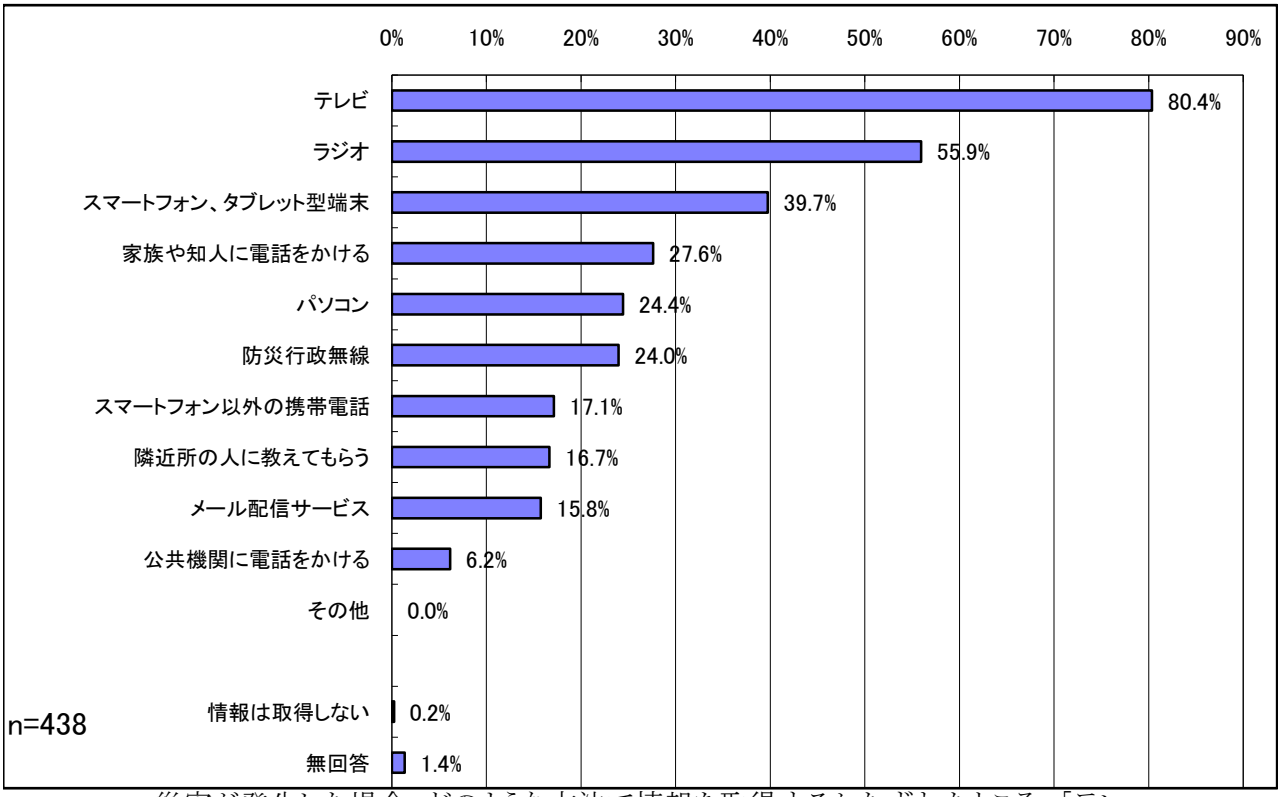
平成22年度からの推移を見ると、平成23年度から「ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している」、「非常食を用意している」といった震災対策に関する項目が増加しています。これは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響が考えられ、その傾向は変わりません。

●災害に備えて準備していること 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	消火器を備えている 39.8%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 35.1%	非常用飲料水を用意している 32.7%	家具などの転倒防止をしている 28.8%	非常食を用意している 24.3%
平成23年度	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 60.9%	非常用飲料水を用意している 53.1%	非常食を用意している 40.8%	消火器を備えている 40.3%	家具などの転倒防止をしている 35.8%
平成24年度	非常用飲料水を用意している 54.2%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 52.1%	非常食を用意している 41.1%	消火器を備えている 37.3%	家具などの転倒防止をしている 36.0%
平成25年度	非常用飲料水を用意している 53.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.1%	非常食を用意している 40.8%	家具などの転倒防止をしている 39.4%	消火器を備えている 34.6%
今回	非常用飲料水を用意している 52.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.9%	非常食を用意している 44.3%	家具などの転倒防止をしている 34.7%	消火器を備えている 33.1%

問7　あなたは災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得しますか。
（〇印はいくつでも）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
テレビ	352	80.4%	1
ラジオ	245	55.9%	2
スマートフォン、タブレット型端末	174	39.7%	3
家族や知人に電話をかける	121	27.6%	4
パソコン	107	24.4%	5
防災行政無線	105	24.0%	6
スマートフォン以外の携帯電話	75	17.1%	7
隣近所の人に教えてもらう	73	16.7%	8
メール配信サービス	69	15.8%	9
公共機関に電話をかける	27	6.2%	10
その他	0	0.0%	―
情報は取得しない	1	0.2%	
無回答	6	1.4%	

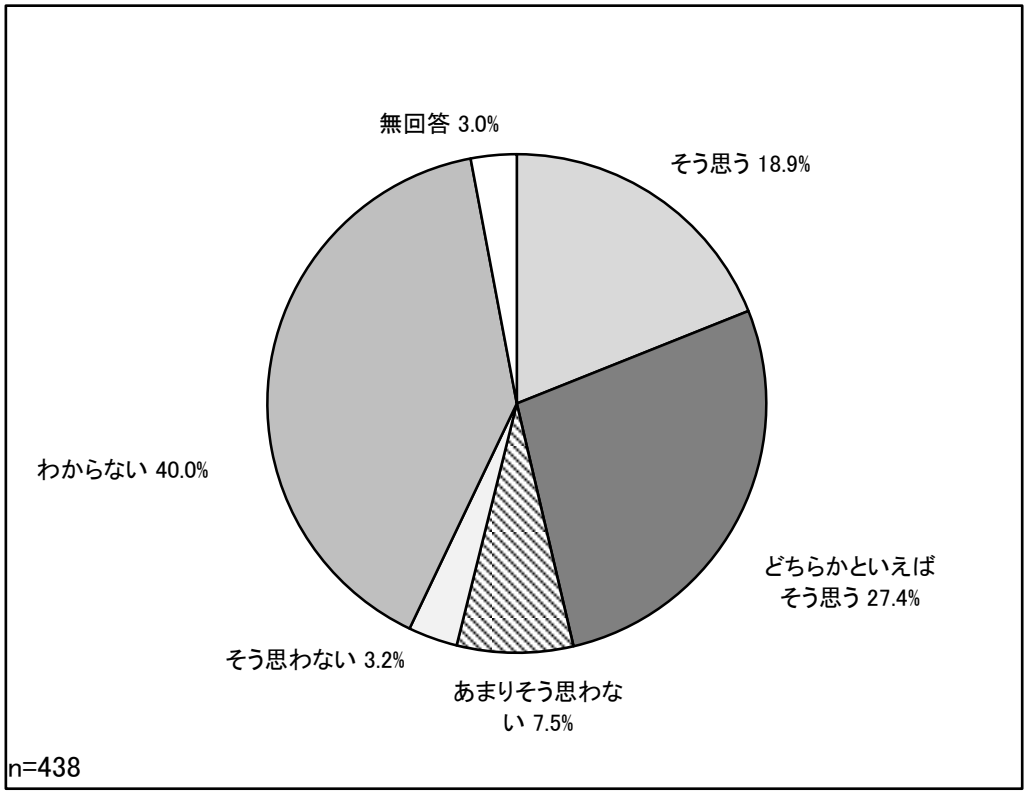


災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得するかたずねたところ、「テレビ」が80.4％で最も多く、次いで「ラジオ」が55.9％と即時性が高い方法で情報を取得していることが伺えます。

＜子育てについて＞

問8　蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
そう思う	83	18.9%	3
どちらかといえばそう思う	120	27.4%	2
あまりそう思わない	33	7.5%	4
そう思わない	14	3.2%	5
わからない	175	40.0%	1
無回答	13	3.0%	



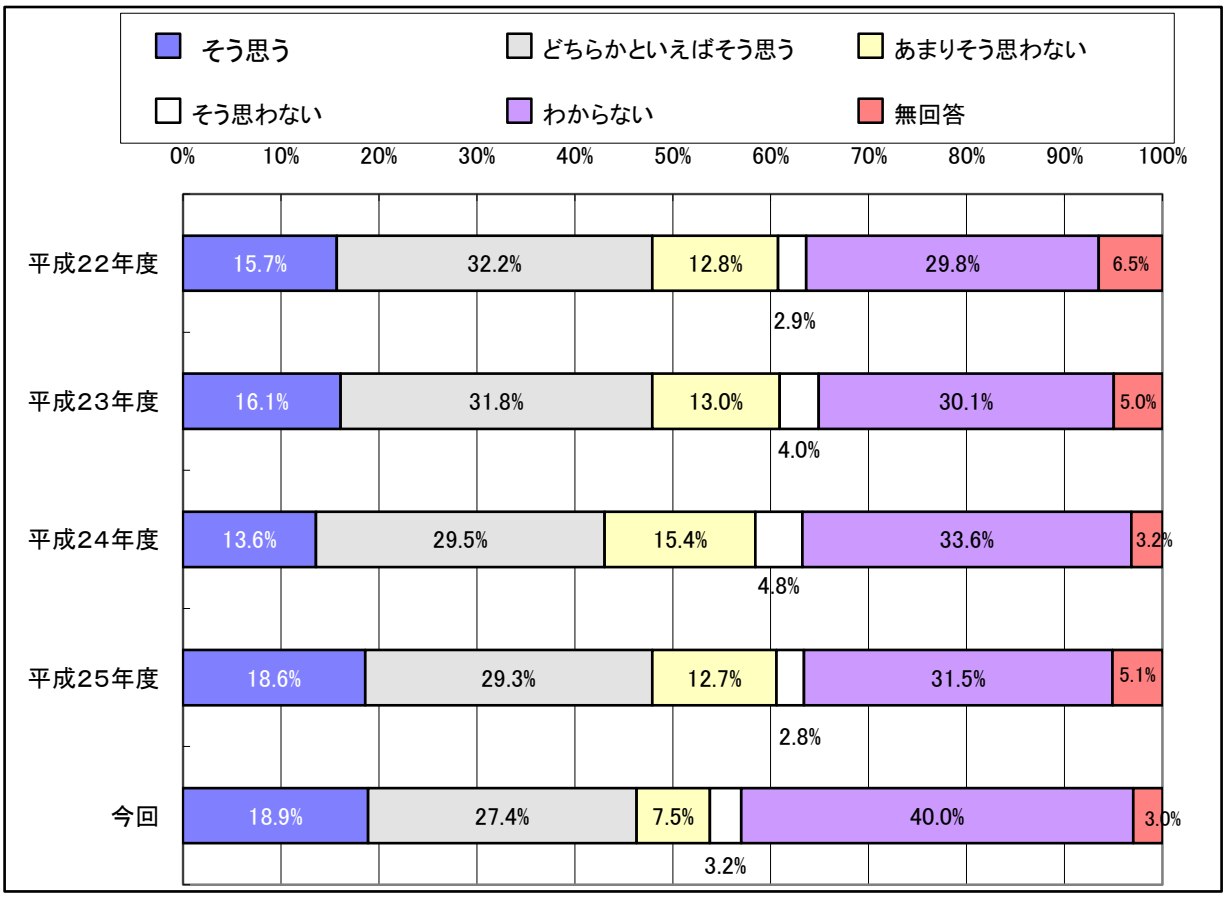
蕨市は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「そう思う」18.9%、「どちらかといえばそう思う」27.4%を合わせると46.3%、一方、「そう思わない」3.2%、「あまりそう思わない」7.5%を合わせると10.7%となり、子育てしやすいまちだと思っている人の方が4倍以上多い結果となりました。

一方、4割の人が「わからない」と答えています。

＜経年変化＞

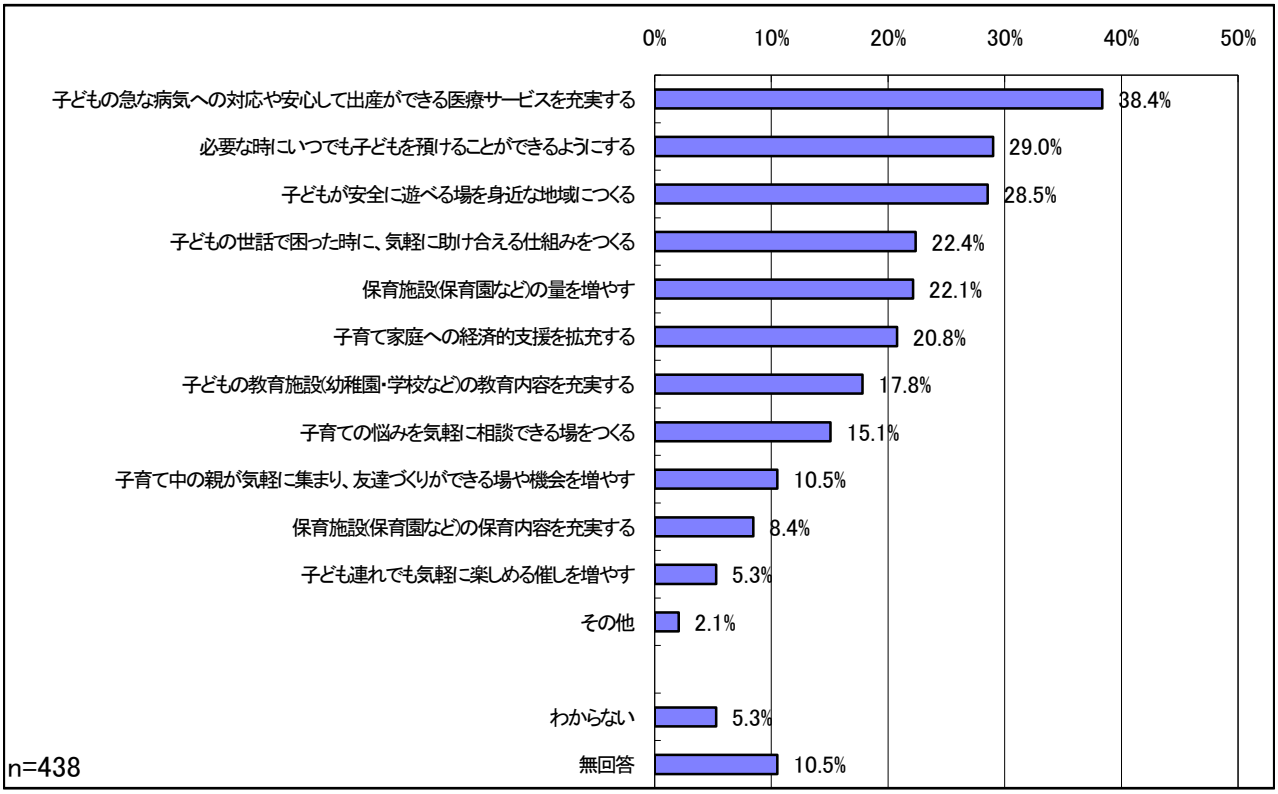
平成22年度からの推移を見ると、「そう思う」が増加傾向にあります。また、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計はおおむね40％台後半となっています。

●子育てについて（平成22年度からの推移）



問9　蕨市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（〇印は3つ以内）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する	168	38.4%	1
必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	127	29.0%	2
子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	125	28.5%	3
子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	98	22.4%	4
保育施設(保育園など)の量を増やす	97	22.1%	5
子育て家庭への経済的支援を拡充する	91	20.8%	6
子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する	78	17.8%	7
子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	66	15.1%	8
子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	46	10.5%	9
保育施設(保育園など)の保育内容を充実する	37	8.4%	10
子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	23	5.3%	11
その他	9	2.1%	―
わからない	23	5.3%	
無回答	46	10.5%	



蕨市をより子育てしやすいまちにするために大切なことをたずねたところ、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」が38.4%と最も多く、次いで、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が29.0%、「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」が28.5%と続いています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」の順位が近年上昇傾向にあります。

●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 48.7%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 38.5%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 37.4%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 30.6%	子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる 21.7%
平成23年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 49.3%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 39.8%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 33.9%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 28.9%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 19.0%
平成24年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 47.4%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 39.6%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 34.8%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.7%	子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる 25.4%
平成25年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 46.2%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 36.6%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 34.6%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 34.1%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.0%
今回	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 38.4%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.0%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 28.5%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 22.4%	保育施設(保育園など)の量を増やす 22.1%

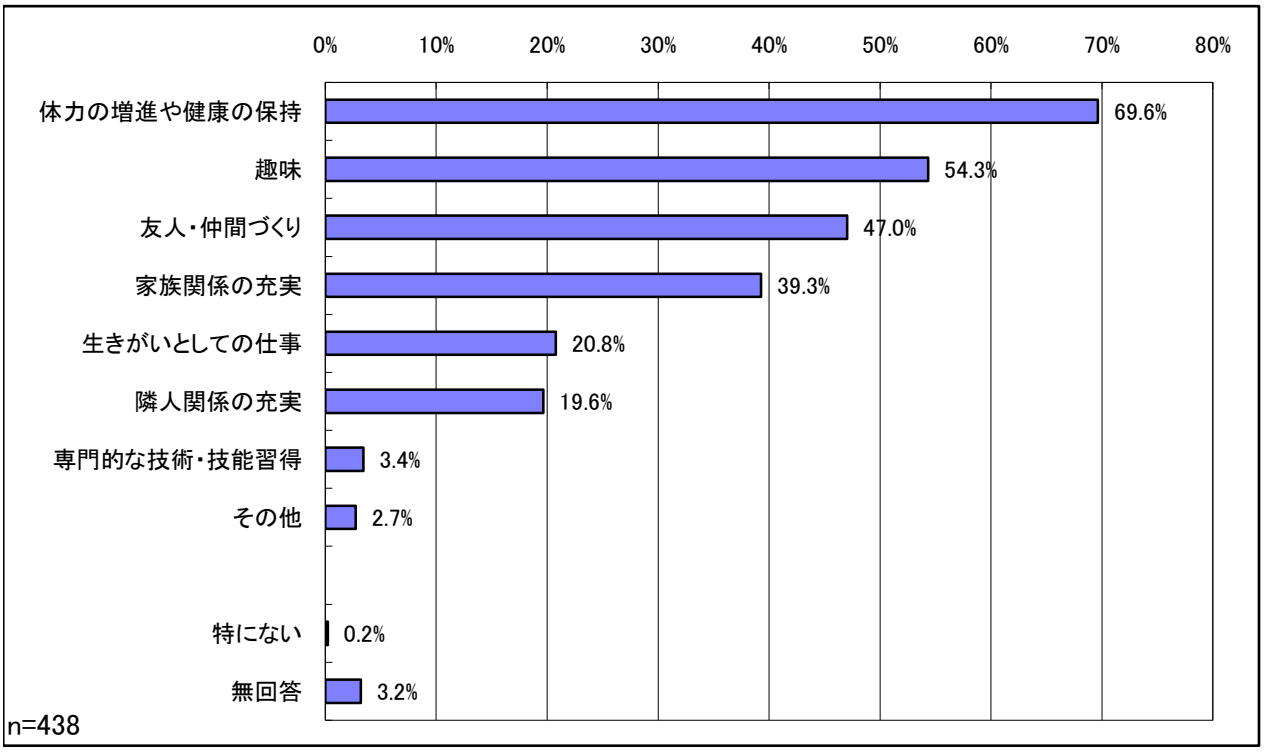
※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。

※平成26年度より回答の選択肢を増やしたため、例年に比べ割合が全体的に下がっています。
（11項目→13項目）

＜高齢期に大切なことについて＞

問10 あなたが高齢期を迎える（迎えた）ときに何が大切だと思いますか。
（○印は3つ以内）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
体力の増進や健康の保持	305	69.6%	1
趣味	238	54.3%	2
友人・仲間づくり	206	47.0%	3
家族関係の充実	172	39.3%	4
生きがいとしての仕事	91	20.8%	5
隣人関係の充実	86	19.6%	6
専門的な技術・技能習得	15	3.4%	7
その他	12	2.7%	―
特にない	1	0.2%	
無回答	14	3.2%	



高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うことについてたずねたところ、「体力の増進や健康の保持」が69.6%と最も多く、次いで、「趣味」が54.3%、「友人・仲間づくり」が47.0%、「家族関係の充実」が39.3%となっています。

＜経年変化＞

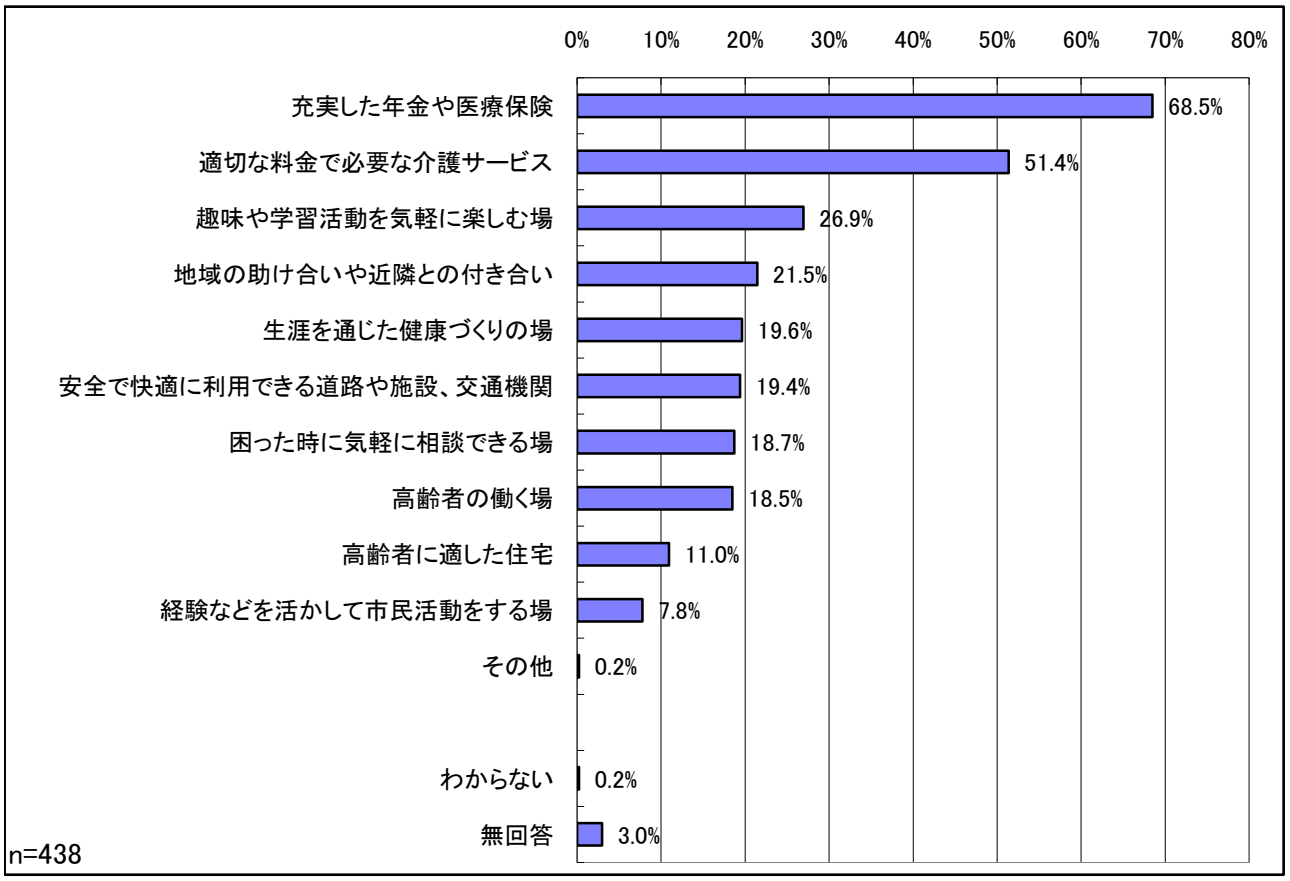
平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「体力の増進や健康の保持」「趣味」が増加傾向にある一方で、近年は20%を超えて上位5位以内にあった「隣人関係の充実」が今年度は上位5位から外れています。（今年度の割合は19.6%）

●高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うこと 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	体力の増進や健康の保持 70.4%	趣味 51.8%	友人・仲間づくり 51.3%	家族関係の充実 34.0%	隣人関係の充実 25.9%
平成23年度	体力の増進や健康の保持 68.2%	友人・仲間づくり 53.1%	趣味 46.9%	家族関係の充実 37.2%	生きがいとしての仕事 24.2%
平成24年度	体力の増進や健康の保持 64.5%	友人・仲間づくり 49.3%	趣味 47.2%	家族関係の充実 35.2%	隣人関係の充実 29.4%
平成25年度	体力の増進や健康の保持 65.4%	趣味 53.2%	友人・仲間づくり 49.0%	家族関係の充実 31.3%	隣人関係の充実 29.3%
今回	体力の増進や健康の保持 69.6%	趣味 54.3%	友人・仲間づくり 47.0%	家族関係の充実 39.3%	生きがいとしての仕事 20.8%

問11 高齢期を生き生きと過ごせるまちにするため、どのような環境が大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
充実した年金や医療保険	300	68.5%	1
適切な料金で必要な介護サービス	225	51.4%	2
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	118	26.9%	3
地域の助け合いや近隣との付き合い	94	21.5%	4
生涯を通じた健康づくりの場	86	19.6%	5
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	85	19.4%	6
困った時に気軽に相談できる場	82	18.7%	7
高齢者の働く場	81	18.5%	8
高齢者に適した住宅	48	11.0%	9
経験などを活かして市民活動をする場	34	7.8%	10
その他	1	0.2%	－
わからない	1	0.2%	
無回答	13	3.0%	



高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境についてたずねたところ、「充実した年金や医療保険」が68.5%と最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」の51.4%と、高齢期の生活基盤・医療・福祉が充実した環境を必要とする回答が多くなっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、減少傾向にあった「充実した年金や医療保険」「適切な料金で必要な介護サービス」の割合が増加しました。また、近年上位5位以内になかった「地域の助け合いや近隣との付き合い」「生涯を通じた健康づくりの場」が4位、5位に入っています。

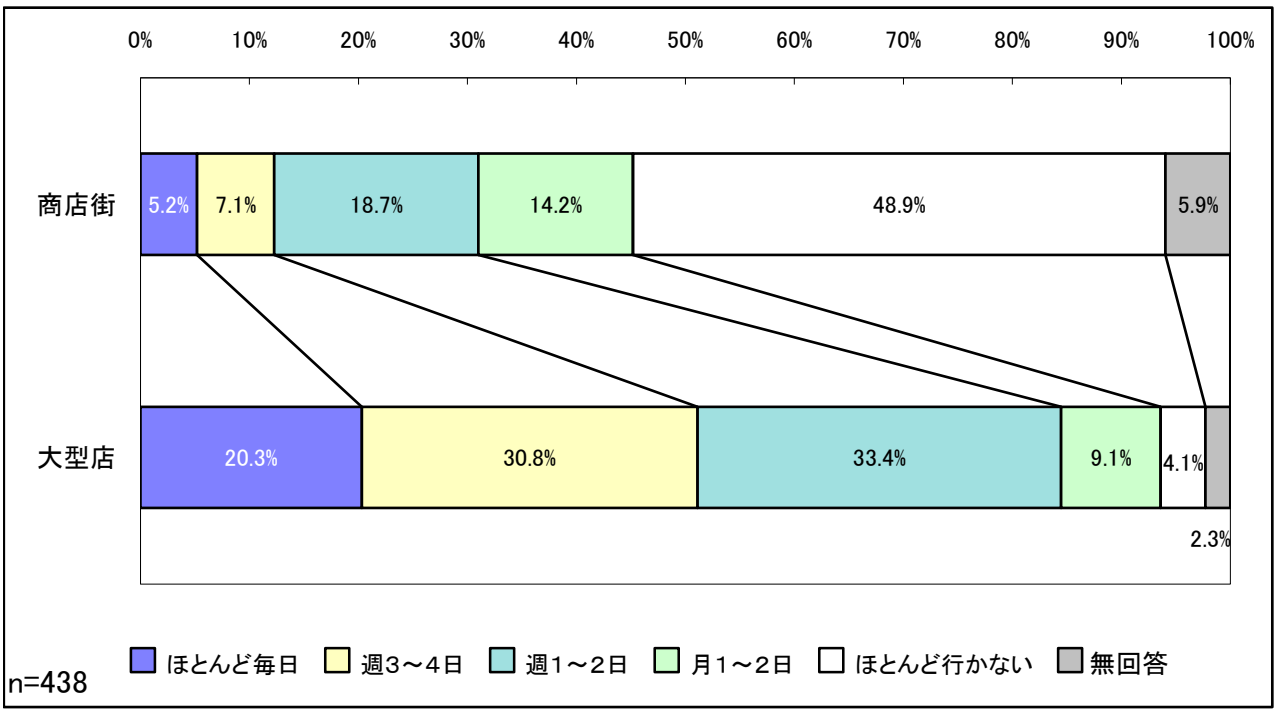
●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	充実した年金や医療保険 68.3%	適切な料金で必要な介護サービス 49.5%	地域の助け合いや近隣との付き合い 22.5%	困った時に気軽に相談できる場 22.3%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 21.7%
平成23年度	充実した年金や医療保険 68.2%	適切な料金で必要な介護サービス 52.8%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 25.6%	困った時に気軽に相談できる場 22.5%	高齢者の働く場 21.8%
平成24年度	充実した年金や医療保険 63.7%	適切な料金で必要な介護サービス 51.7%	高齢者の働く場 23.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 23.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 21.9%
平成25年度	充実した年金や医療保険 62.8%	適切な料金で必要な介護サービス 48.2%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 28.2%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 25.6%	困った時に気軽に相談できる場 22.5%
今回	充実した年金や医療保険 68.5%	適切な料金で必要な介護サービス 51.4%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 26.9%	地域の助け合いや近隣との付き合い 21.5%	生涯を通じた健康づくりの場 19.6%

＜まちのにぎわいについて＞

問12 買い物についてお伺いします。あなたが商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。（○印はそれぞれ1つ）

	商店街			大型店		
回答対象者：438人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
ほとんど毎日	23	5.2%	5	89	20.3%	3
週3～4日	31	7.1%	4	135	30.8%	2
週1～2日	82	18.7%	2	146	33.4%	1
月1～2日	62	14.2%	3	40	9.1%	4
ほとんど行かない	214	48.9%	1	18	4.1%	5
無回答	26	5.9%		10	2.3%	



商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ買い物に行く頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」「週3～4日」「週1～2日」の割合の合計は、商店街の31.0%に対し、大型店は84.5%で2.5倍以上になっています。

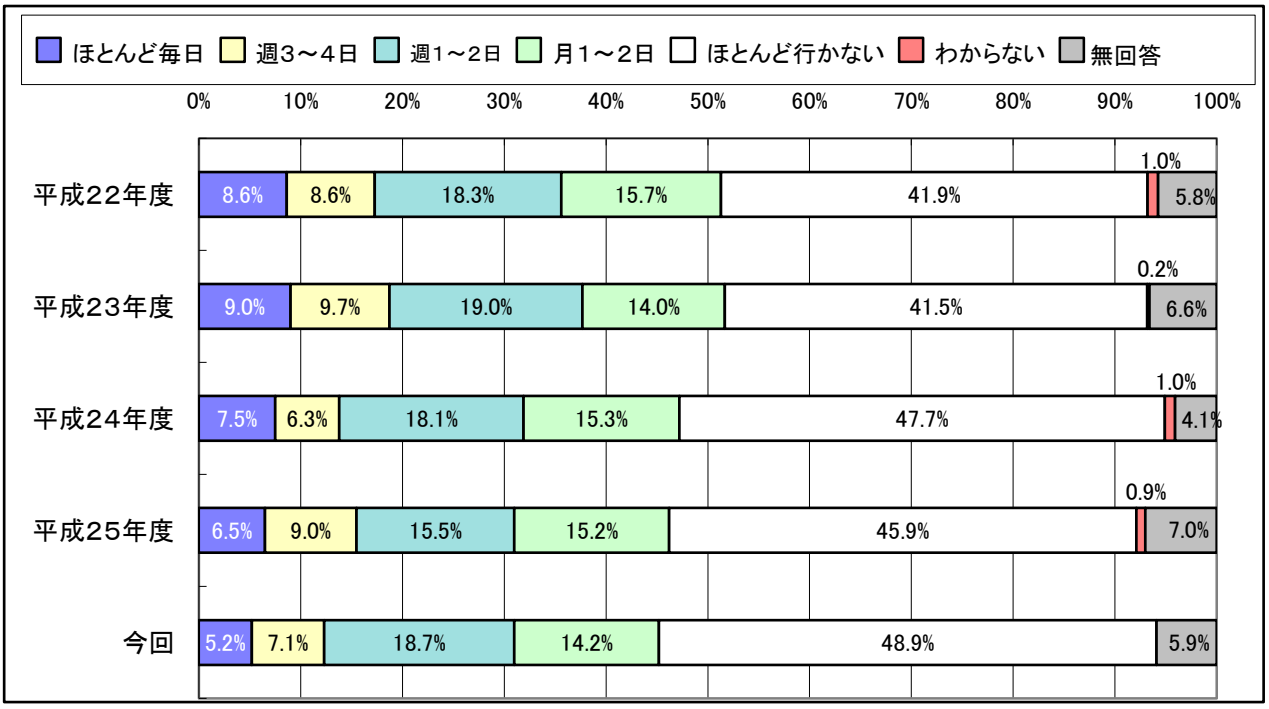
また、「ほとんど行かない」が商店街の48.9%に対し、大型店は4.1%となっています。

＜経年変化＞

【商店街】

平成22年度からの推移を見ると、商店街については、買い物に行く頻度が減少傾向にあります。

●商店街に買い物に行く頻度（平成22年度からの推移）

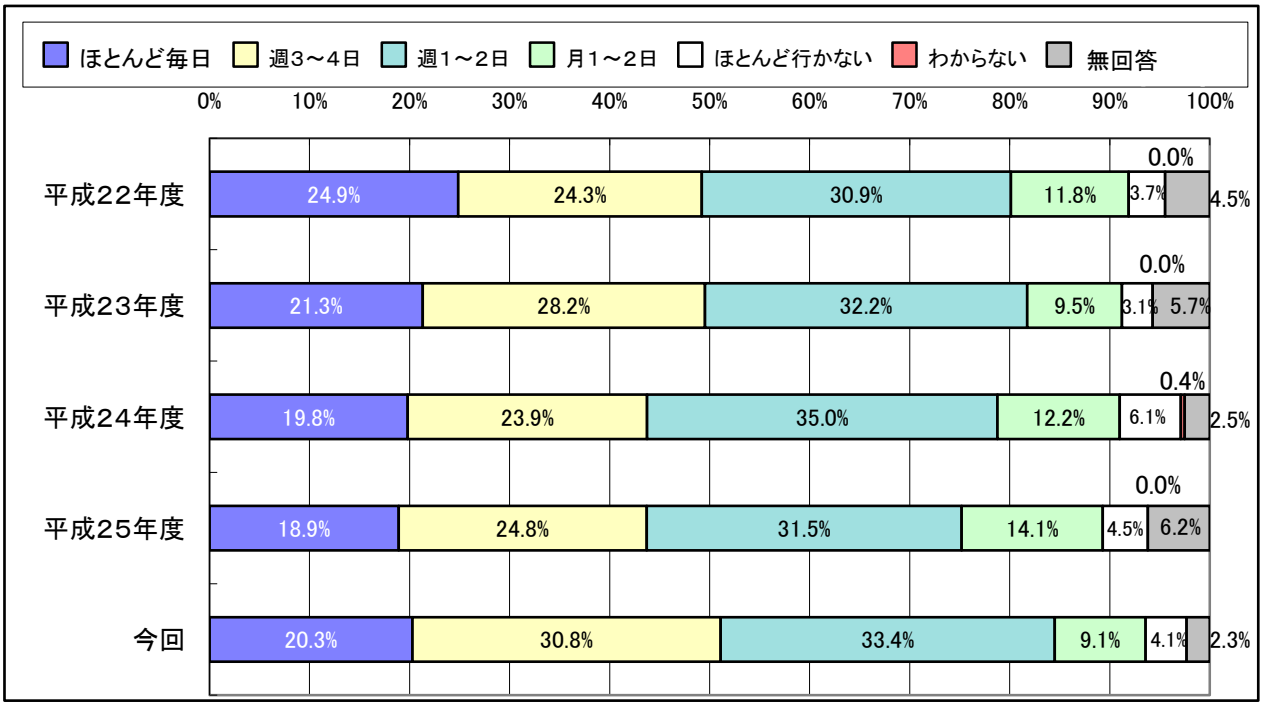


※平成26年度から「わからない」という選択肢を削除しました。

【大型店】

平成22年度からの推移を見ると、大型店については、前回、買い物の頻度が週一日以上の割合は75.2%でしたが、今年は84.5%に増加しています。

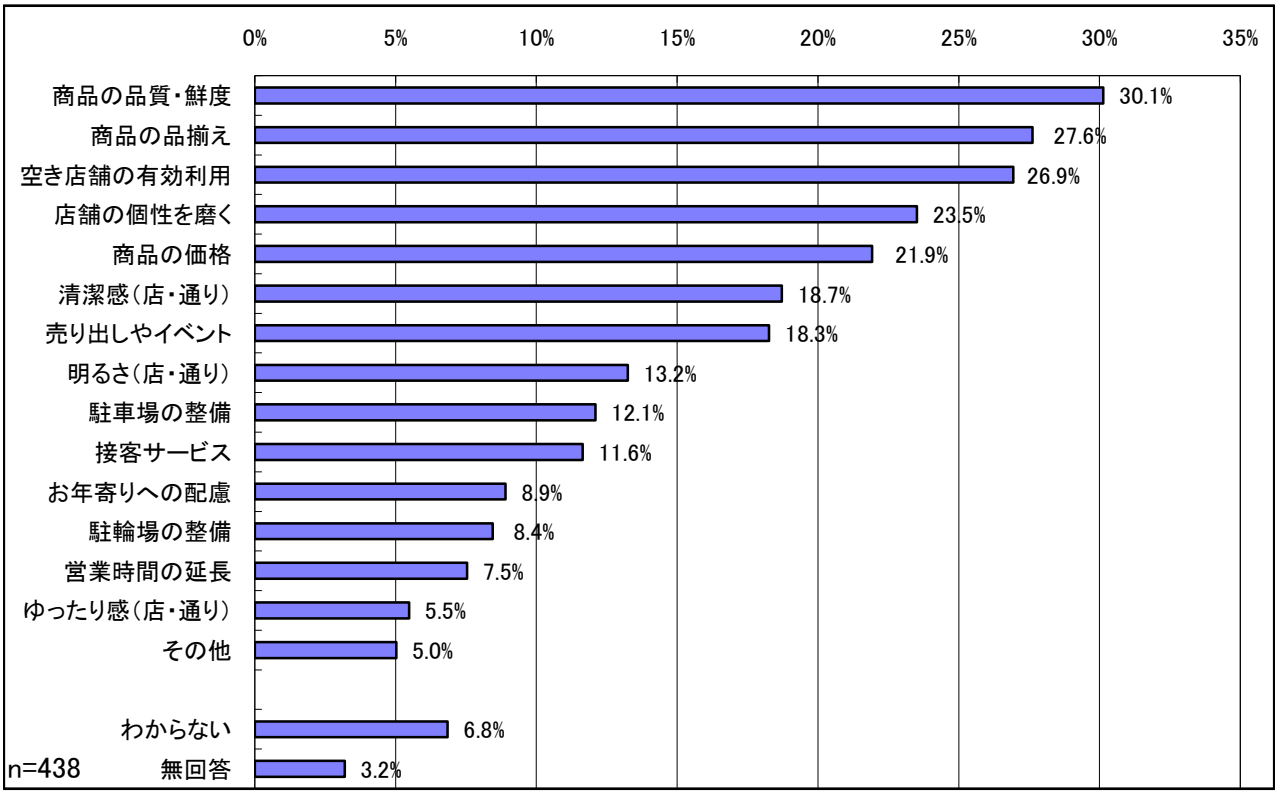
●大型店に買い物に行く頻度（平成22年度からの推移）



※平成26年度から「わからない」という選択肢を削除しました。

問13 商店街の活性化についてお伺いします。あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。（〇印は3つ以内）

回答対象者:438人	件数	割合	順位
商品の品質・鮮度	132	30.1%	1
商品の品揃え	121	27.6%	2
空き店舗の有効利用	118	26.9%	3
店舗の個性を磨く	103	23.5%	4
商品の価格	96	21.9%	5
清潔感（店・通り）	82	18.7%	6
売り出しやイベント	80	18.3%	7
明るさ（店・通り）	58	13.2%	8
駐車場の整備	53	12.1%	9
接客サービス	51	11.6%	10
お年寄りへの配慮	39	8.9%	11
駐輪場の整備	37	8.4%	12
営業時間の延長	33	7.5%	13
ゆったり感（店・通り）	24	5.5%	14
その他	22	5.0%	ー
わからない	30	6.8%	
無回答	14	3.2%	



商店街に望むことについてたずねたところ、最も望むことは「商品の品質・鮮度」の30.1%、次いで「商品の品揃え」の27.6%と上位は品揃え・品質と商品に関しての要望が多くなっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成について大きな変化はありませんが、前回と比べて「空き店舗の有効利用」が22.8%から26.9%、「店舗の個性を磨く」が21.1%から23.5%と増加し、順位もそれぞれ1つずつ上げています。

●商店街に望むこと 上位5位（平成22年度からの推移）

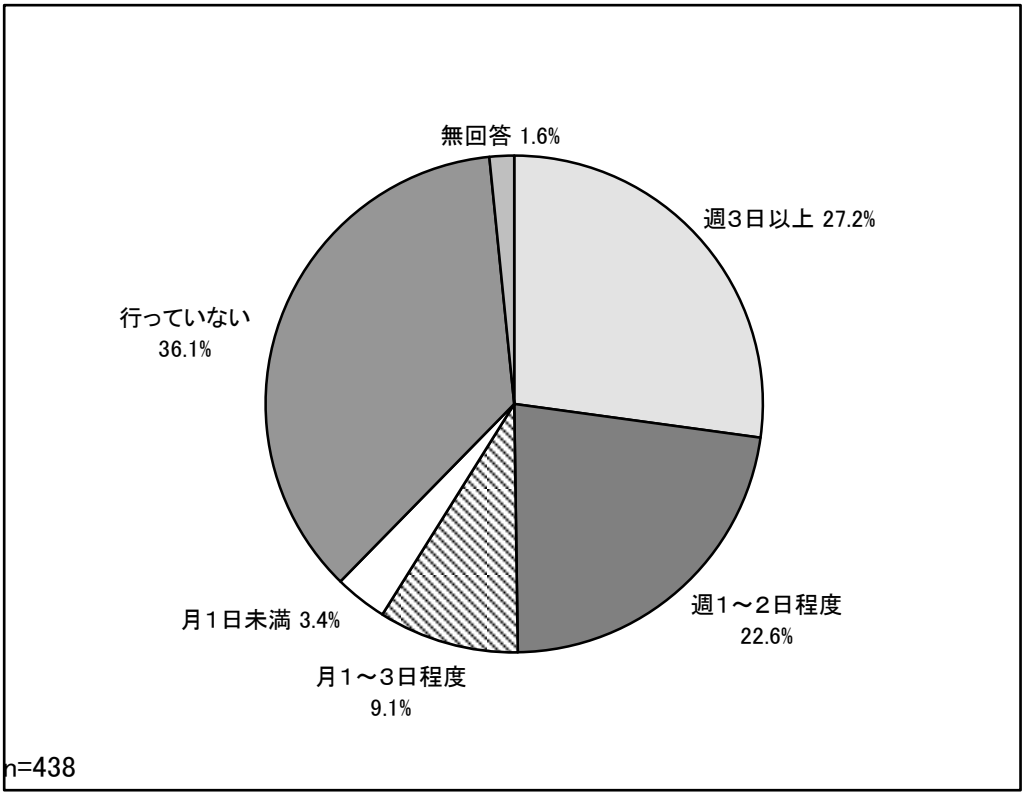
	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	商品の品質・鮮度 31.9%	商品の価格 27.7%	商品の品揃え 27.2%	店舗の個性を磨く 25.9%	空き店舗の有効利用 22.8%
平成23年度	商品の品揃え 36.7%	商品の価格 31.5%	商品の品質・鮮度 31.3%	店舗の個性を磨く 23.2%	空き店舗の有効利用 21.1%
平成25年度	商品の品質・鮮度 29.9%	商品の品揃え 28.5%	商品の価格 24.5%	空き店舗の有効利用 22.8%	店舗の個性を磨く 21.1%
今回	商品の品質・鮮度 30.1%	商品の品揃え 27.6%	空き店舗の有効利用 26.9%	店舗の個性を磨く 23.5%	商品の価格 21.9%

※平成24年度は本項目の調査を行っていません。

＜運動・スポーツについて＞

問14　健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。
あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。（○印は1つ）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
週3日以上	119	27.2%	2
週1～2日程度	99	22.6%	3
月1～3日程度	40	9.1%	4
月1日未満	15	3.4%	5
行っていない	158	36.1%	1
無回答	7	1.6%	

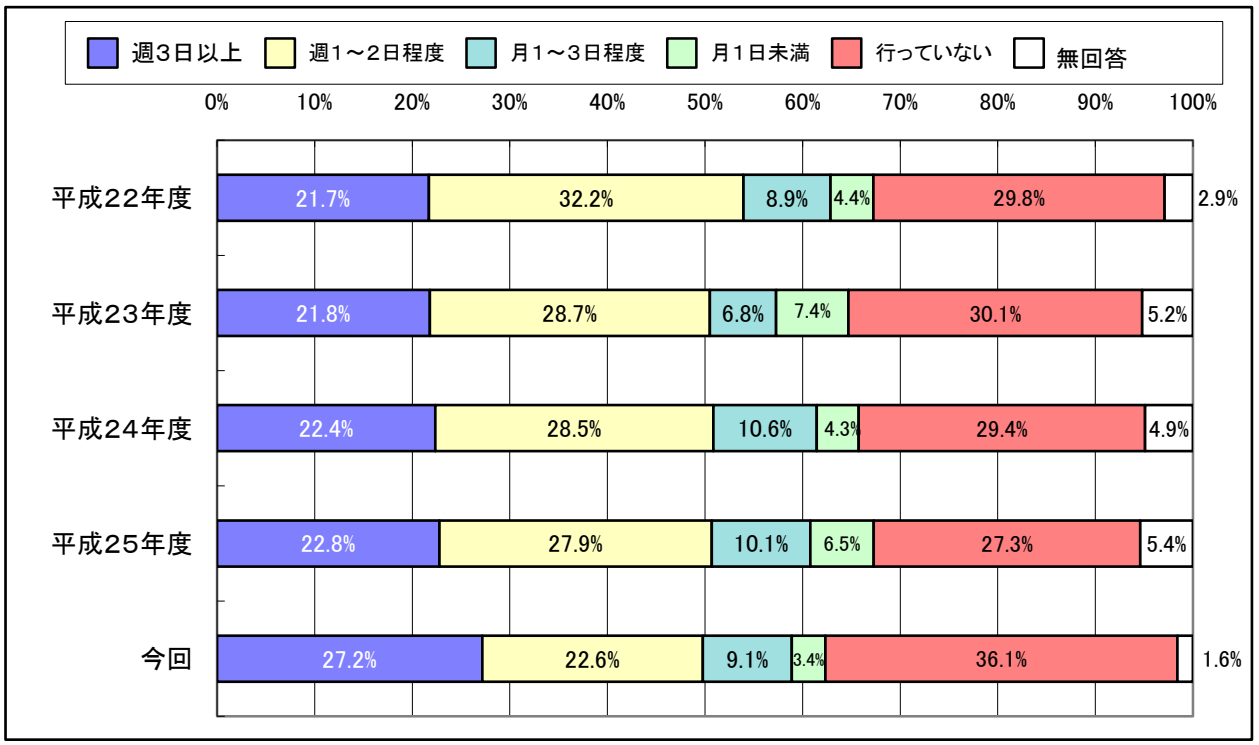


どのくらいの頻度で運動・スポーツをしているかたずねたところ、「週3日以上」が27.2%で最も多く、次いで「週1～2日程度」が22.6%、「月1～3日程度」が9.1%と続いており、およそ50%の人が、週1日以上何らかの運動・スポーツをしているという結果になっています。

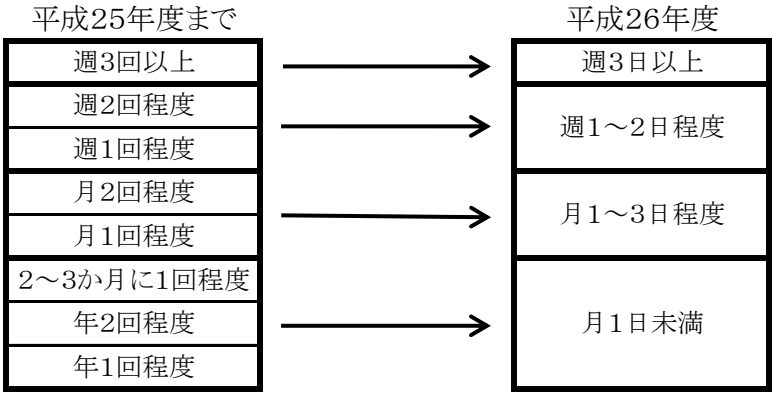
＜経年変化＞

運動・スポーツをしている頻度について平成22年度からの経年変化を見ると、週1日以上スポーツをしている人の割合は50%程度で推移しています。

●運動・スポーツをしている頻度（平成22年度からの推移）



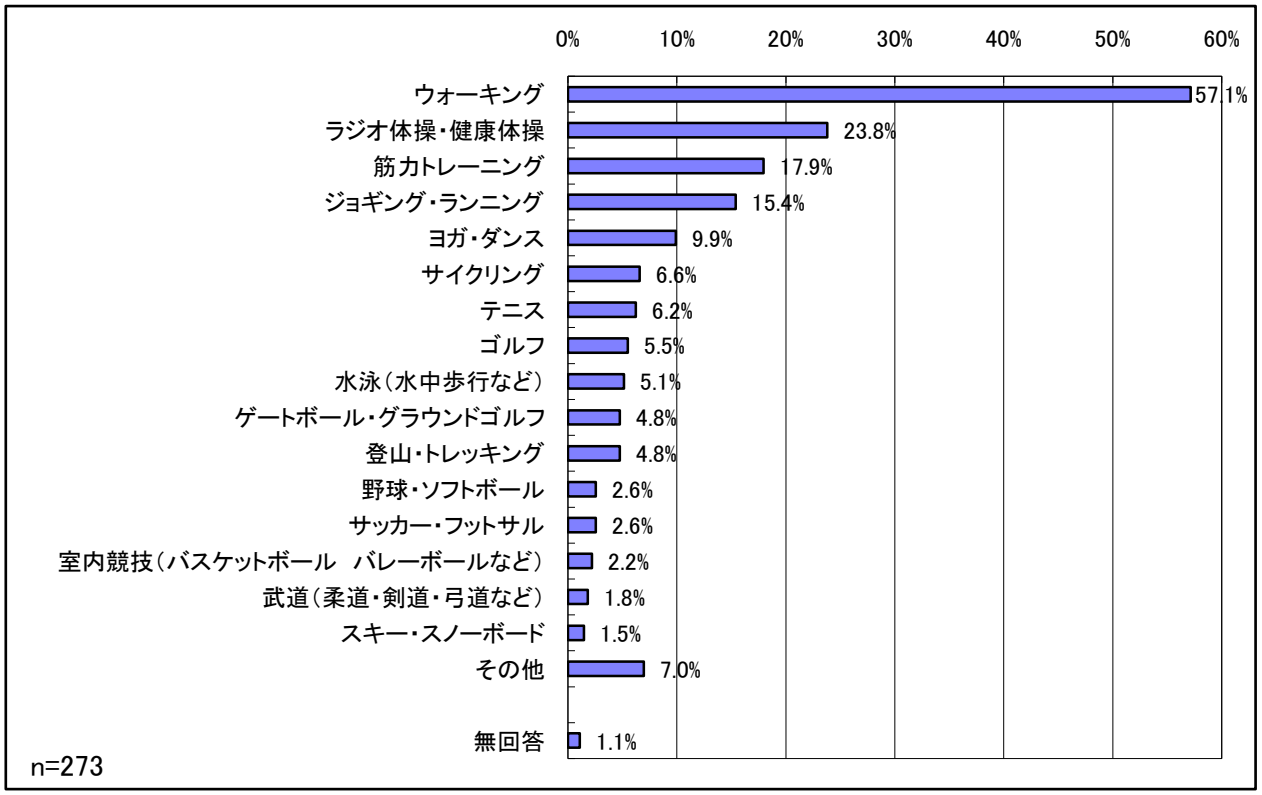
※平成26年度より回答の選択肢を変更したため、平成25年度以前の割合を現在の選択肢に合わせて再集計しました。



問14で「週3日以上」「週1～2日程度」「月1～3日程度」「月1日未満」と答えた人のみ回答

問15　あなたは、主にどのような運動・スポ―ツをしていますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：273人	件数	割合	順位
ウォーキング	156	57.1%	1
ラジオ体操・健康体操	65	23.8%	2
筋力トレーニング	49	17.9%	3
ジョギング・ランニング	42	15.4%	4
ヨガ・ダンス	27	9.9%	5
サイクリング	18	6.6%	6
テニス	17	6.2%	7
ゴルフ	15	5.5%	8
水泳（水中歩行など）	14	5.1%	9
ゲートボール・グラウンドゴルフ	13	4.8%	10
登山・トレッキング	13	4.8%	10
野球・ソフトボール	7	2.6%	12
サッカー・フットサル	7	2.6%	12
室内競技（バスケットボール　バレーボールなど）	6	2.2%	14
武道（柔道・剣道・弓道など）	5	1.8%	15
スキー・スノーボード	4	1.5%	16
その他	19	7.0%	―
無回答	3	1.1%	



もっとも行われている運動・スポーツは「ウォーキング」で57.1%、次いで「ラジオ体操・健康体操」が23.8%、「筋力トレーニング」が17.9%となっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目に大きな変化はありませんが、1位の「ウォーキング」が57.1%と増加しました。

●どのような運動・スポーツをしているか 上位5位（平成22年度からの推移）

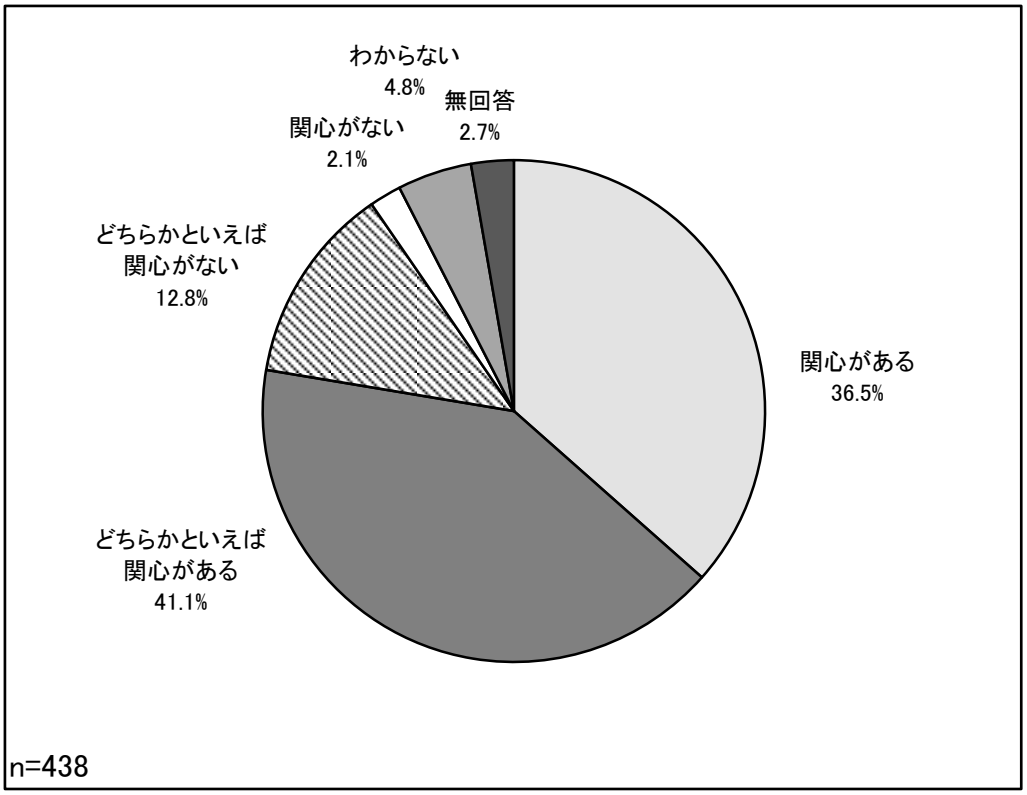
	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	ウォーキング 47.9%	軽い体操・ラジオ体操 30.0%	ゴルフ 14.4%	ジョギング・ランニング 13.6%	水泳 12.8%
平成23年度	ウォーキング 48.4%	体操（軽体操・エアロビなど） 19.4%	ジョギング・ランニング 17.2%	筋力トレーニング 15.0%	ゴルフ 13.6%
平成24年度	ウォーキング 49.3%	体操（軽体操・エアロビなど） 21.3%	筋力トレーニング 12.7%	ゴルフ 12.3%	ジョギング・ランニング 12.0%
平成25年度	ウォーキング 45.7%	体操（軽体操・エアロビなど） 18.8%	ジョギング・ランニング 15.1%	筋力トレーニング 14.7%	サイクリング 12.2%
今回	ウォーキング 57.1%	ラジオ体操・健康体操 23.8%	筋力トレーニング 17.9%	ジョギング・ランニング 15.4%	ヨガ・ダンス 9.9%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。
※平成25年度までは、運動・スポーツをしていない人を含めた回答者全体を分母としていましたが、平成26年度より、設問の対象を運動・スポーツをしている人のみに変更したため、平成25年度以前の割合を運動・スポーツをしていると回答した人だけを分母とする割合に再計算しました。

＜ごみの減量化について＞

問16 ごみの減量化やリサイクルについて関心がありますか。（〇印は1つ）

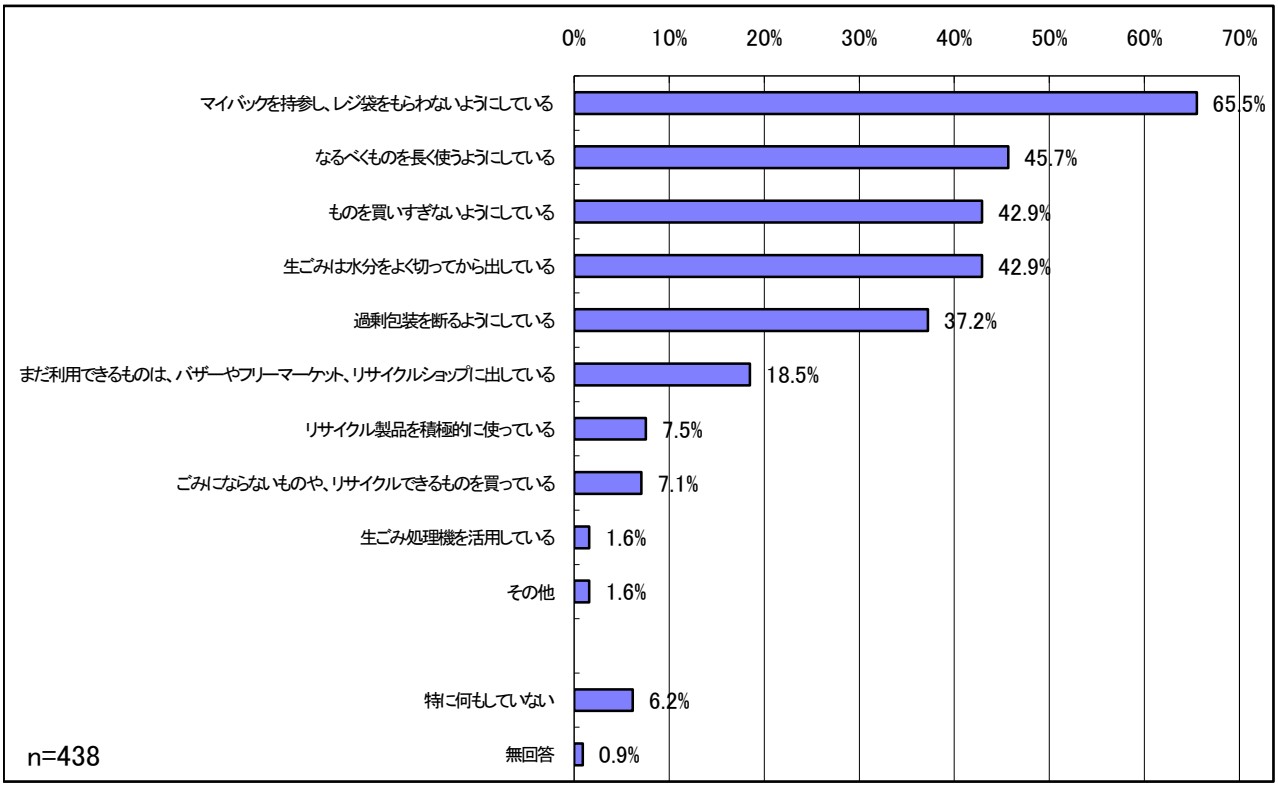
回答対象者：438人	件数	割合	順位
関心がある	160	36.5%	2
どちらかといえば関心がある	180	41.1%	1
どちらかといえば関心がない	56	12.8%	3
関心がない	9	2.1%	5
わからない	21	4.8%	4
無回答	12	2.7%	



ごみの減量化やリサイクルについて関心があるかたずねたところ、「関心がある」36.5%、「どちらかといえば関心がある」41.1%を合わせると77.6%、一方、「関心がない」2.1%、「どちらかといえば関心がない」12.8%を合わせると14.9%となり、多くの人がごみの減量化やリサイクルについて関心があると回答しています。

問17　ごみを減らすためどのような取り組みをしていますか。（○印はいくつでも）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
マイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしている	287	65.5%	1
なるべくものを長く使うようにしている	200	45.7%	2
ものを買いすぎないようにしている	188	42.9%	3
生ごみは水分をよく切ってから出している	188	42.9%	3
過剰包装を断るようにしている	163	37.2%	5
まだ利用できるものは、バザーやフリーマーケット、リサイクルショップに出している	81	18.5%	6
リサイクル製品を積極的に使っている	33	7.5%	7
ごみにならないものや、リサイクルできるものを買っている	31	7.1%	8
生ごみ処理機を活用している	7	1.6%	9
その他	7	1.6%	－
特に何もしていない	27	6.2%	－
無回答	4	0.9%	



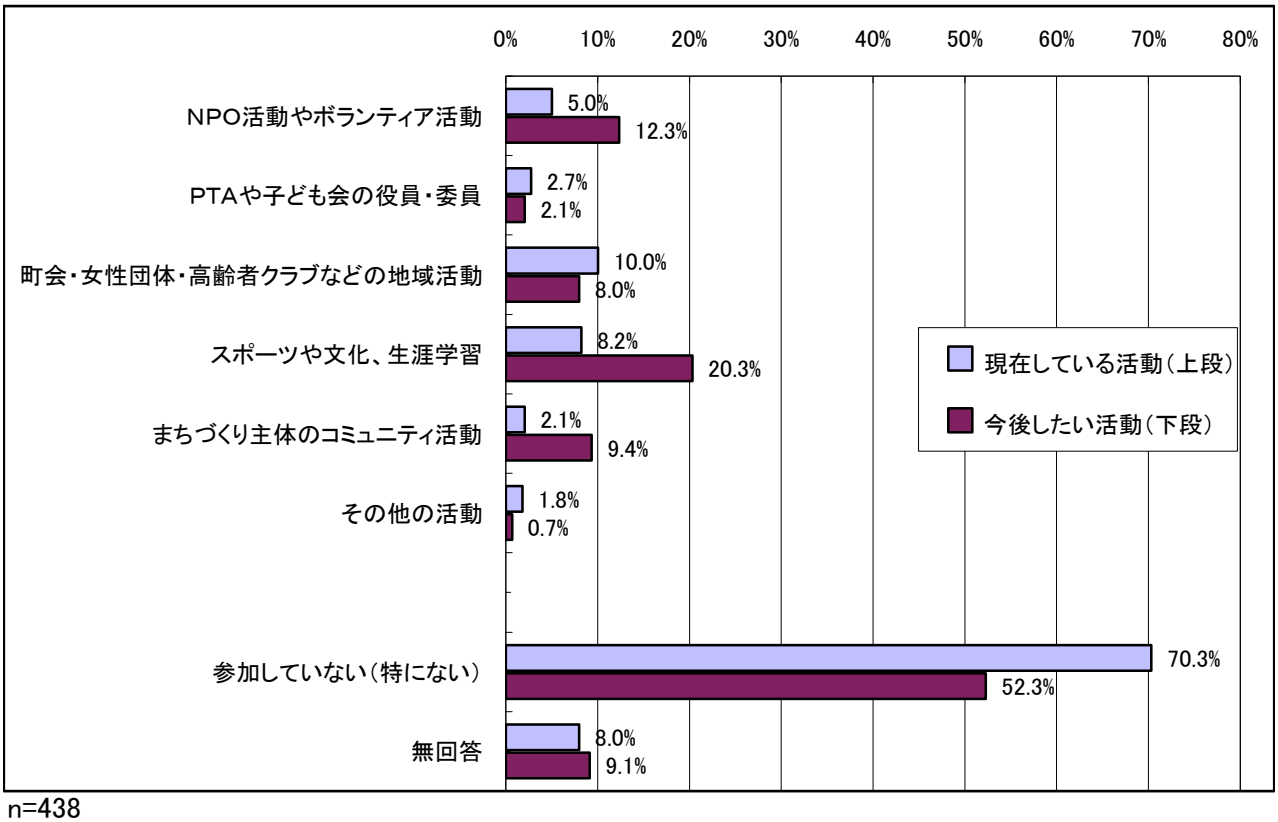
ごみを減らすためどのような取り組みをしているかたずねたところ、「マイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしている」が最も多く65.5%、次いで「なるべくものを長く使うようにしている」の45.7%、「ものを買いすぎないようにしている」「生ごみは水分をよく切ってから出している」が42.9%となっています。

また、90%以上の人が、ごみを減らすための何らかの取り組みを行っていると回答しています。

＜市民活動について＞

問18 あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。
（〇印はそれぞれいくつでも）

	現在している活動			今後したい活動		
回答対象者：438人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
NPO活動やボランティア活動	22	5.0%	3	54	12.3%	2
PTAや子ども会の役員・委員	12	2.7%	4	9	2.1%	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	44	10.0%	1	35	8.0%	4
スポーツや文化、生涯学習	36	8.2%	2	89	20.3%	1
まちづくり主体のコミュニティ活動	9	2.1%	5	41	9.4%	3
その他の活動	8	1.8%	―	3	0.7%	―
参加していない（特にない）	308	70.3%		229	52.3%	
無回答	35	8.0%		40	9.1%	



n=438

現在している市民活動と今後したい市民活動についてたずねたところ、活動に参加している人の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が10.0%で最も多く、次いで「スポーツや文化、生涯学習」の8.2%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、生涯学習」の20.3%が最も多く、現在の状況と比較すると2倍以上多い結果になっています。また、「NPO活動やボランティア活動」や「まちづくり主体のコミュニティ活動」についても、現状より参加意向が多くなっています。

＜経年変化＞

【現在の状況】

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、1位の「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が減少傾向にあります。また、「参加していない」の割合をみると、市民活動に参加している人は増加していないことが伺えます。

●現在している市民活動 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成22年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 16.5%	スポーツや文化、学習活動 11.0%	PTAの役員・委員 3.9%	NPO活動やボランティア活動 3.4%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.4%	60.2%
平成23年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 15.2%	スポーツや文化、学習活動 8.8%	NPO活動やボランティア活動 4.7%	PTAの役員・委員 3.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 3.3%	63.0%
平成24年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 15.0%	スポーツや文化、学習活動 10.2%	NPO活動やボランティア活動 5.2%	PTAの役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.3%	67.7%
平成25年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.2%	スポーツや文化、学習活動 10.1%	NPO活動やボランティア活動 5.6%	PTAの役員・委員 3.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.8%	64.5%
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.0%	スポーツや文化、生涯学習 8.2%	NPO活動やボランティア活動 5.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.1%	70.3%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。

※「その他」・「無回答」は除く

【今後の意向】

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、近年「NPO活動やボランティア活動」「まちづくり主体のコミュニティ活動」が増加傾向にあります。

●今後したいと思う市民活動 上位5位（平成22年度からの推移）

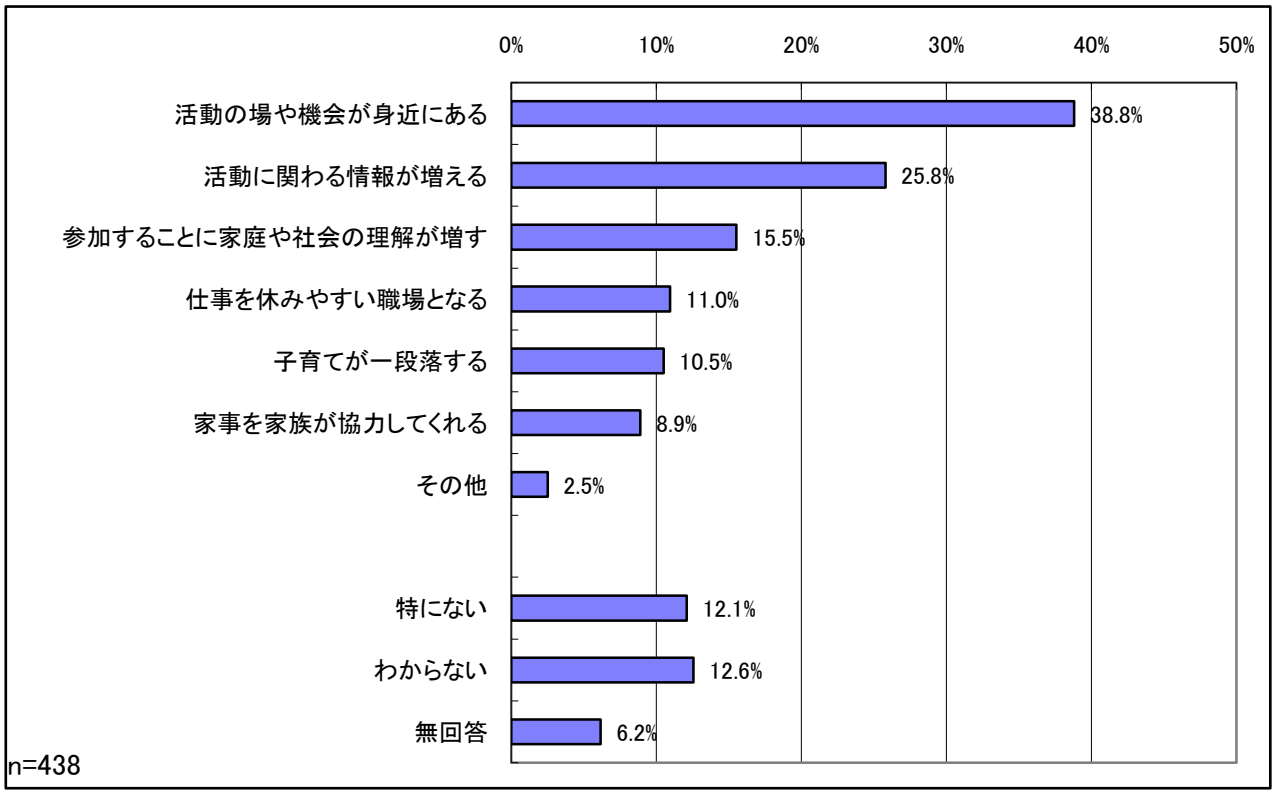
	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成22年度	スポーツや文化、学習活動 24.3%	NPO活動やボランティア活動 8.6%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.4%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.5%	PTAの役員・委員 0.5%	49.5%
平成23年度	スポーツや文化、学習活動 20.4%	NPO活動やボランティア活動 9.2%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 8.3%	PTAの役員・委員 0.7%	53.3%
平成24年度	スポーツや文化、学習活動 22.5%	NPO活動やボランティア活動 10.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.6%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.7%	PTAの役員・委員 1.3%	53.8%
平成25年度	スポーツや文化、学習活動 18.3%	NPO活動やボランティア活動 10.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動／まちづくり主体のコミュニティ活動 8.5%		PTAの役員・委員 1.7%	52.1%
今回	スポーツや文化、生涯学習 20.3%	NPO活動やボランティア活動 12.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 9.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	52.3%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。

※「その他」・「無回答」は除く

問19 上記のような活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。（〇印は2つ以内）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
活動の場や機会が身近にある	170	38.8%	1
活動に関わる情報が増える	113	25.8%	2
参加することに家庭や社会の理解が増す	68	15.5%	3
仕事を休みやすい職場となる	48	11.0%	4
子育てが一段落する	46	10.5%	5
家事を家族が協力してくれる	39	8.9%	6
その他	11	2.5%	―
特にない	53	12.1%	
わからない	55	12.6%	
無回答	27	6.2%	



市民活動に参加しやすい環境についてたずねたところ、最も多かったのが「活動の場や機会が身近にある」の38.8%、次いで「活動に関わる情報が増える」の25.8%、「仕事を休みやすい職場となる」の15.5%となっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、減少傾向にありました1位の「活動の場や機会が身近にある」が、今年度は38.8%に増加しました。

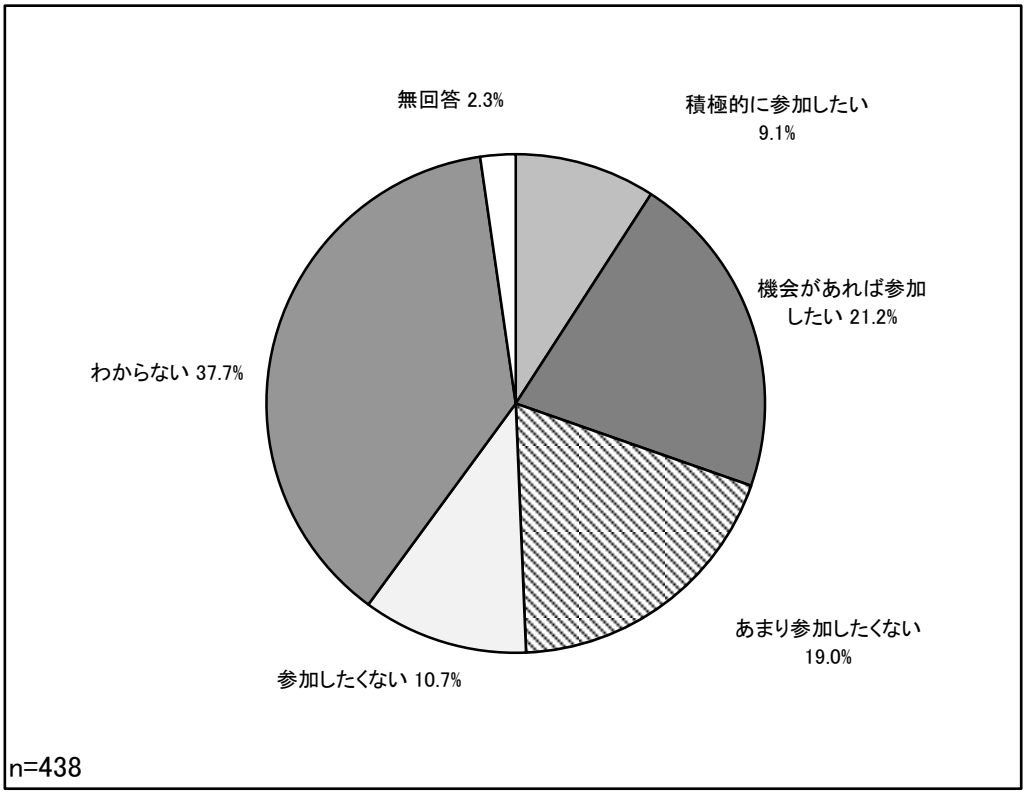
●市民活動に参加しやすくなる環境 上位5位（平成22年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	活動の場や機会が身近にある 34.6%	活動に関わる情報が増える 27.0%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.2%	子育てが一段落する 14.4%	家事を家族が協力してくれる 9.7%
平成23年度	活動の場や機会が身近にある 34.1%	活動に関わる情報が増える 27.5%	参加することに家庭や社会の理解が増す 12.1%	仕事を休みやすい職場となる 子育てが一段落する 11.6%	
平成24年度	活動の場や機会が身近にある 32.6%	活動に関わる情報が増える 24.2%	休みを取りやすい職場となる 15.3%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.2%	子育てが一段落する 11.5%
平成25年度	活動の場や機会が身近にある 31.5%	活動に関わる情報が増える 27.6%	仕事を休みやすい職場となる 14.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.2%	子育てが一段落する 11.3%
今回	活動の場や機会が身近にある 38.8%	活動に関わる情報が増える 25.8%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.5%	仕事を休みやすい職場となる 11.0%	子育てが一段落する 10.5%

＜市民参加について＞

問20　あなたは、市政の計画づくりやまちづくりに参加したいと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
積極的に参加したい	40	9.1%	5
機会があれば参加したい	93	21.2%	2
あまり参加したくない	83	19.0%	3
参加したくない	47	10.7%	4
わからない	165	37.7%	1
無回答	10	2.3%	

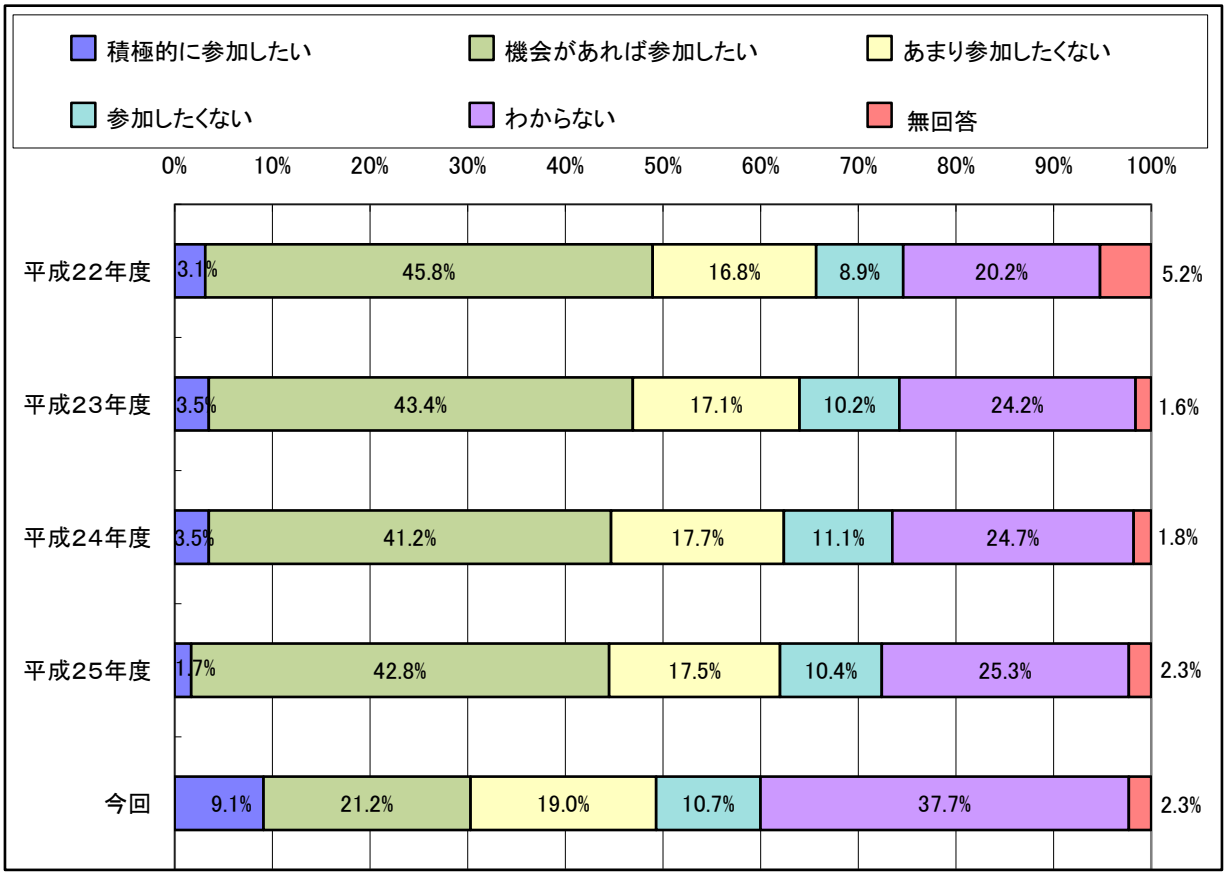


市政の計画づくりやまちづくりへの市民参加については、「積極的に参加したい」が9.1%、「機会があれば参加したい」が21.2%となっており、これらを合わせた30.3%の人が参加を望んでいることがわかります。このことから、市民参加の機会を拡充するなど行政の積極的な働きかけにより、市民参加が今以上に進む可能性が伺えます。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた市民活動に参加意向を持つ人の割合が減少傾向にあります。今年度は「機会があれば参加したい」が21.2%に減少し、「わからない」が37.7%に増加しました。ただし、「積極的に参加したい」が9.1%と大幅に増加しました。

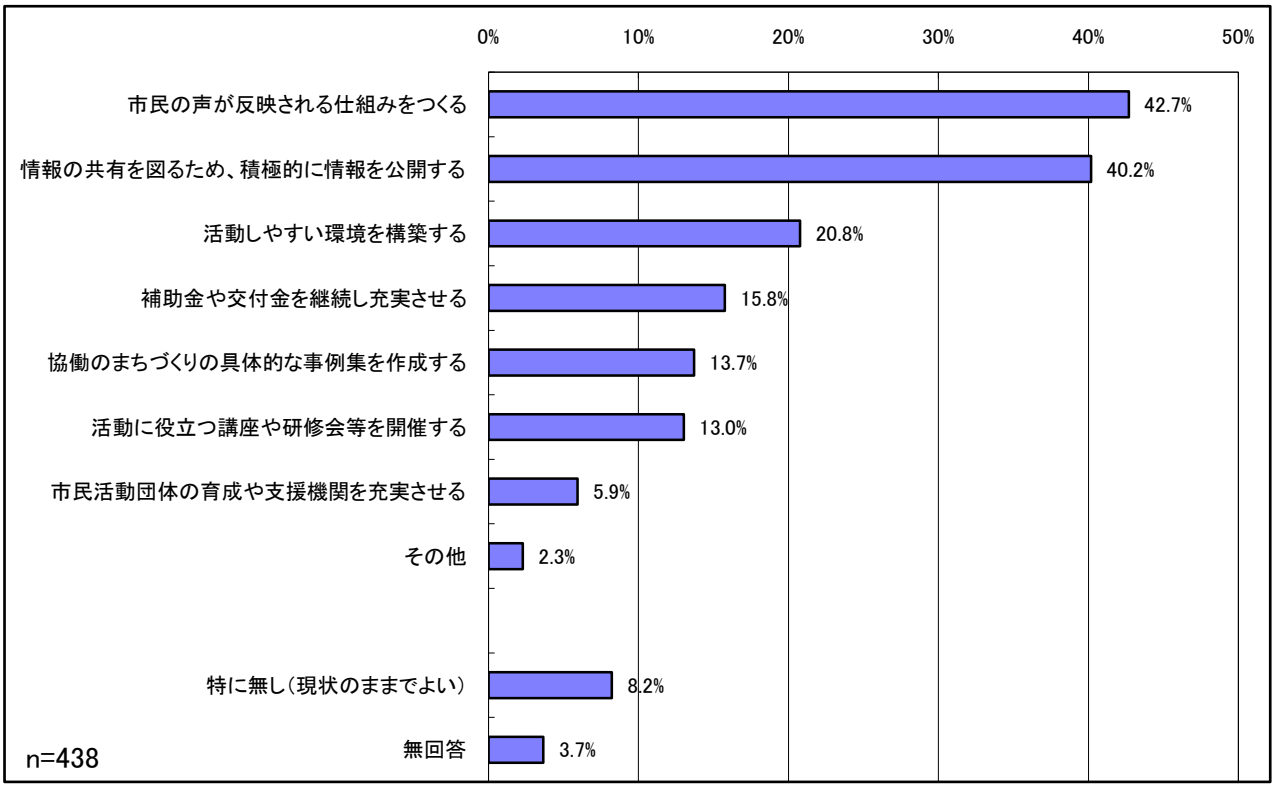
●市政の計画づくりやまちづくりへの参加について（平成22年度からの推移）



＜協働のまちづくりについて＞

問21 市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきだと思いますか。（○印は2つ以内）

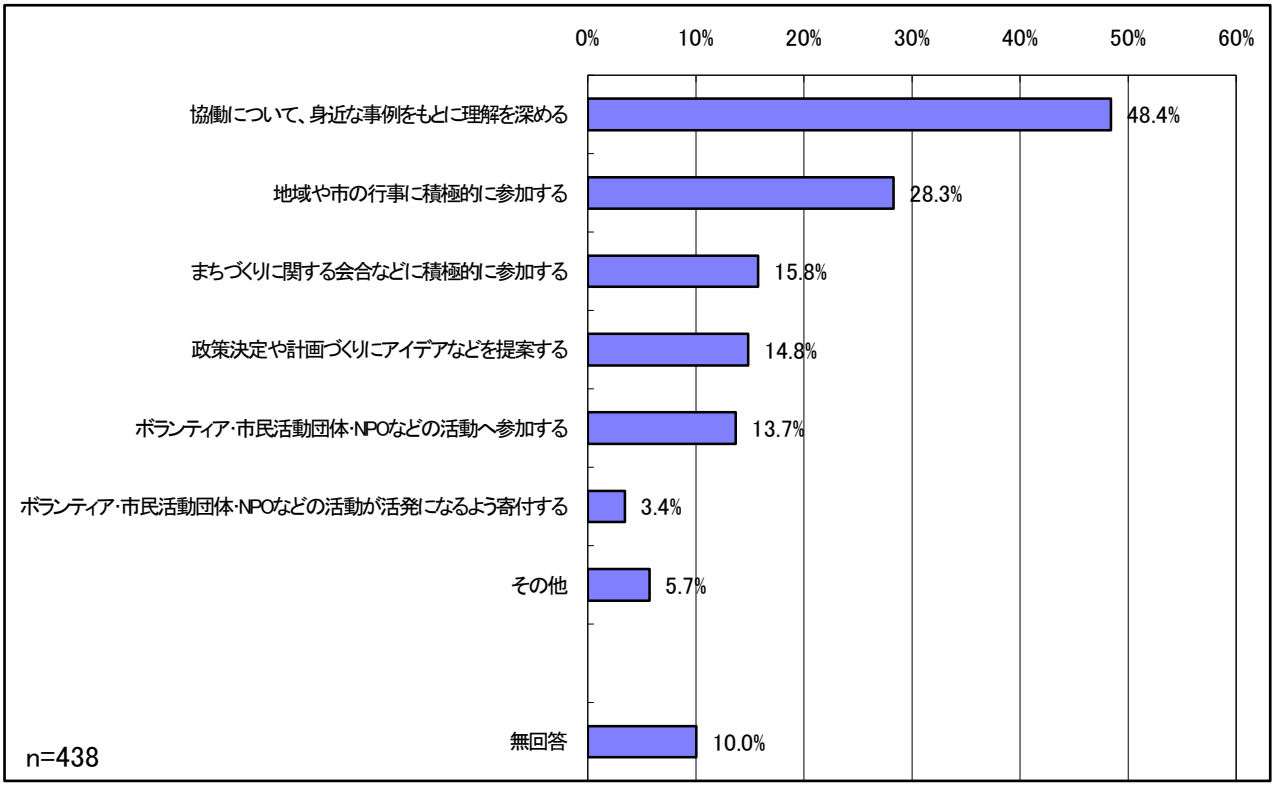
回答対象者：438人	件数	割合	順位
市民の声が反映される仕組みをつくる	187	42.7%	1
情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する	176	40.2%	2
活動しやすい環境を構築する	91	20.8%	3
補助金や交付金を継続し充実させる	69	15.8%	4
協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する	60	13.7%	5
活動に役立つ講座や研修会等を開催する	57	13.0%	6
市民活動団体の育成や支援機関を充実させる	26	5.9%	7
その他	10	2.3%	－
特に無し（現状のままでよい）	36	8.2%	－
無回答	16	3.7%	



市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきかたずねたところ、「市民の声が反映される仕組みをつくる」が42.7%、次いで「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」が40.2%、「活動しやすい環境を構築する」が20.8%と続いています。

問22 協働によるまちづくりを進めるには、あなたは何をすればよいと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
協働について、身近な事例をもとに理解を深める	212	48.4%	1
地域や市の行事に積極的に参加する	124	28.3%	2
まちづくりに関する会合などに積極的に参加する	69	15.8%	3
政策決定や計画づくりにアイデアなどを提案する	65	14.8%	4
ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動へ参加する	60	13.7%	5
ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動が活発になるよう寄付する	15	3.4%	6
その他	25	5.7%	－
無回答	44	10.0%	

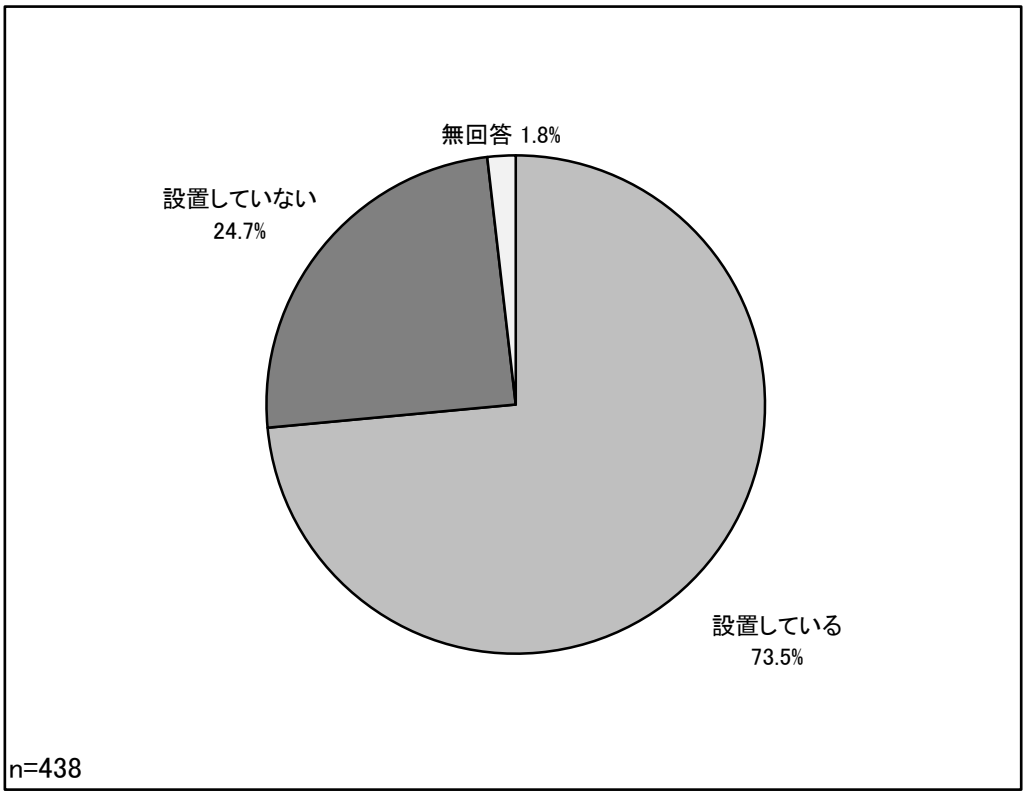


市民との協働によるまちづくりを進めるために、何をすればよいかたずねたところ、「協働について、身近な事例をもとに理解を深める」が48.4%、次いで「地域や市の行事に積極的に参加する」が28.3%、「まちづくりに関する会合などに積極的に参加する」が15.8%と続いています。

＜住宅用火災警報器の設置について＞

問23 住宅用火災警報器は、寝室と階段（寝室が2階以上の階にある場合）に設置することが義務付けられています。あなたの家には、義務となる場所に住宅用火災警報器を設置していますか。（○印は1つ）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
設置している	322	73.5%	1
設置していない	108	24.7%	2
無回答	8	1.8%	

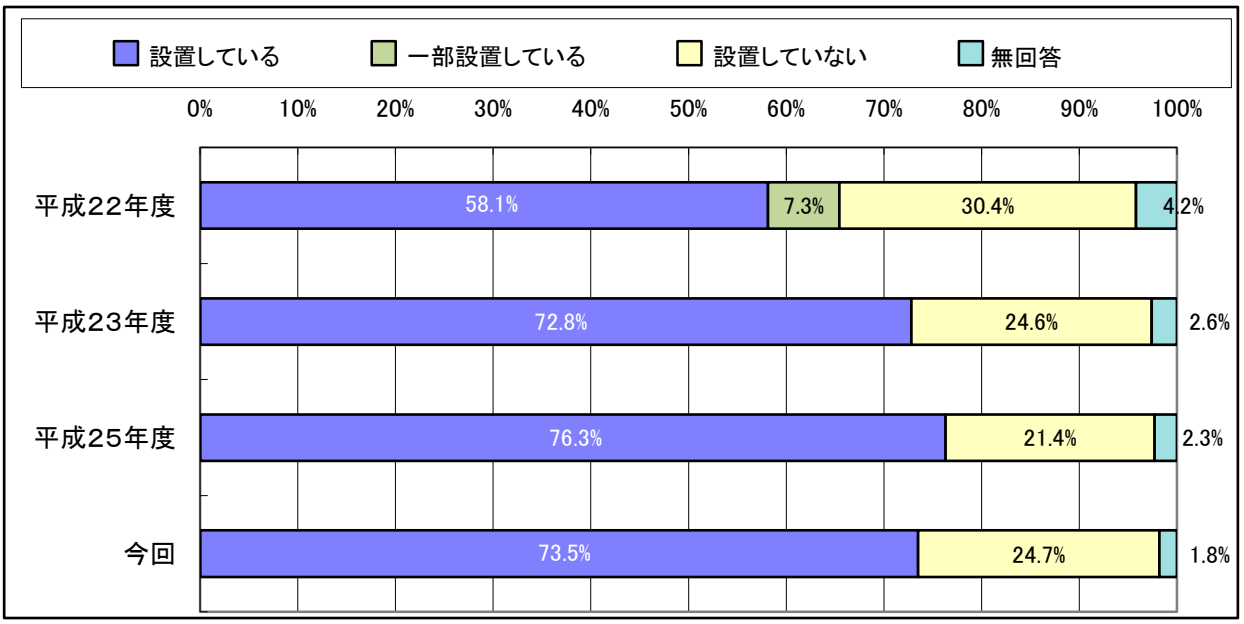


住宅用火災警報器の設置についてたずねたところ、「設置している」が73.5％となり、およそ4人に3人が設置しているという結果になりました。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、住宅用火災警報器を設置している人の割合は、引き続き7割程度で推移しています。

●住宅用火災警報器の設置状況（平成22年度からの推移）

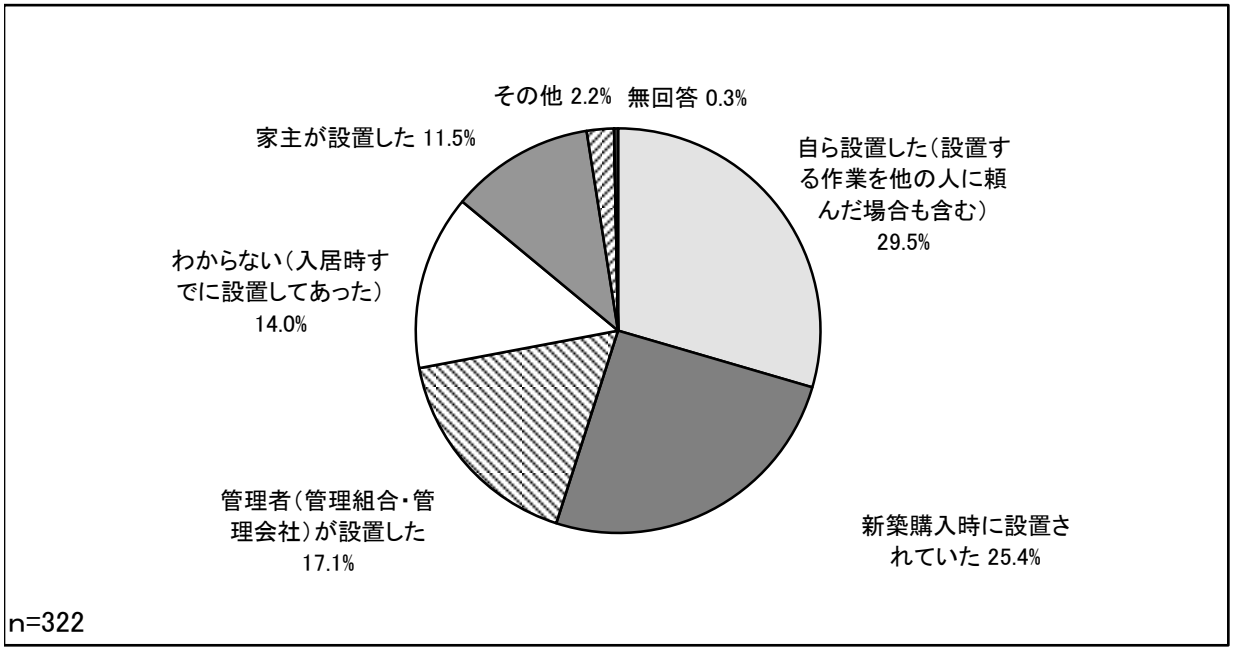


※平成23年度からは「一部設置している」の選択肢がありません。また、平成24年度は本項目の調査を行っていません。

問23で「設置している」と答えた人のみ回答

問24 どのような経緯で設置しましたか。（○印は1つ）

回答対象者：322人	件数	割合	順位
自ら設置した（設置する作業を他の人に頼んだ場合も含む）	95	29.5%	1
新築購入時に設置されていた	82	25.4%	2
管理者（管理組合・管理会社）が設置した	55	17.1%	3
わからない（入居時すでに設置してあった）	45	14.0%	4
家主が設置した	37	11.5%	5
その他	7	2.2%	－
無回答	1	0.3%	



どのような経緯で設置したかたずねたところ、「自ら設置した」が29.5%、次いで「新築購入時に設置されていた」が25.4%、「管理者が設置した」が17.1%となっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「自ら設置した」が減少傾向にあります。

●住宅用火災警報機を設置した経緯 上位5位（平成22年度からの推移）

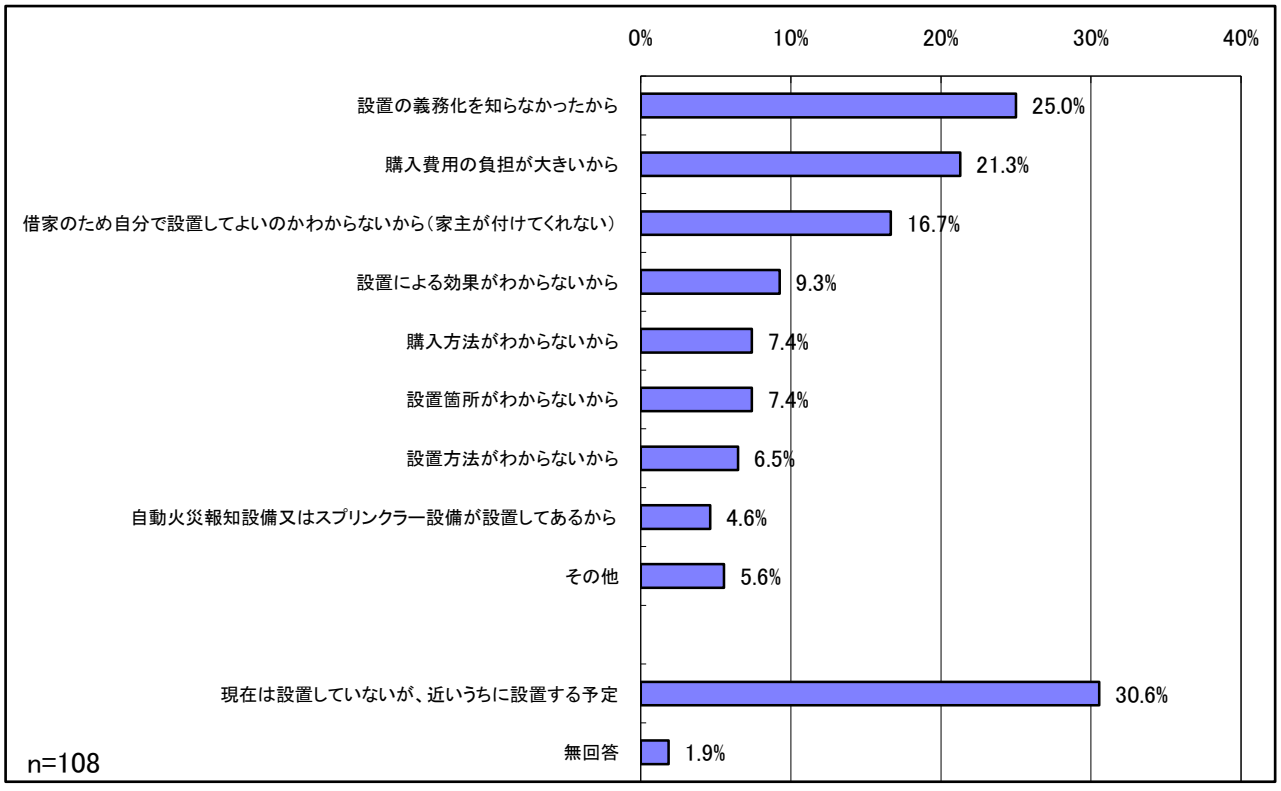
	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	自ら設置した（設置する作業を他の人に頼んだ場合も含む） 38.0%	新築購入時に設置されていた 21.6%	管理者（管理組合・管理会社）が設置した 13.2%	わからない（入居時、すでに設置してあった） 12.0%	家主が設置した 11.2%
平成23年度	自ら設置した（設置する作業を他の人に頼んだ場合も含む） 41.4%	新築購入時に設置されていた 19.5%	管理者（管理組合・管理会社）が設置した 14.0%	家主が設置した 10.4%	わからない（入居時、すでに設置してあった） 10.1%
平成25年度	自ら設置した（設置する作業を他の人に頼んだ場合も含む） 33.9%	新築購入時に設置されていた 28.4%	管理者（管理組合・管理会社）が設置した 13.3%	わからない（入居時、すでに設置してあった） 12.2%	家主が設置した 8.5%
今回	自ら設置した（設置する作業を他の人に頼んだ場合も含む） 29.5%	新築購入時に設置されていた 25.4%	管理者（管理組合・管理会社）が設置した 17.1%	わからない（入居時、すでに設置してあった） 14.0%	家主が設置した 11.5%

※平成24年度は本項目の調査を行っていません。

問23で「設置していない」と答えた人のみ回答

問25　設置していない理由を教えてください（〇印はいくつでも）

回答対象者：108人	件数	割合	順位
設置の義務化を知らなかったから	27	25.0%	1
購入費用の負担が大きいから	23	21.3%	2
借家のため自分で設置してよいのかわからないから（家主が付けてくれない）	18	16.7%	3
設置による効果がわからないから	10	9.3%	4
購入方法がわからないから	8	7.4%	5
設置箇所がわからないから	8	7.4%	5
設置方法がわからないから	7	6.5%	7
自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置してあるから	5	4.6%	8
その他	6	5.6%	－
現在は設置していないが、近いうちに設置する予定	33	30.6%	－
無回答	2	1.9%	



火災警報器を設置していない理由をたずねたところ「設置の義務化を知らなかったから」が25.0%、次いで「購入費用の負担が大きいから」が21.3%「借家のため自分で設置してよいのかわからないから（家主が付けてくれない）」が16.7%となっています。

一方、「現在は設置していないが、近いうちに設置する予定」としている人は30.6%となっています。

＜経年変化＞

平成22年度からの推移を見ると、前回に引き続き「設置の義務化を知らなかった」が1位となっています。また、前回減少した「設置費用の負担が大きい」が今回21.3%と増加しました。

●住宅用火災警報機を設置していない理由 上位5位（平成22年度からの推移）

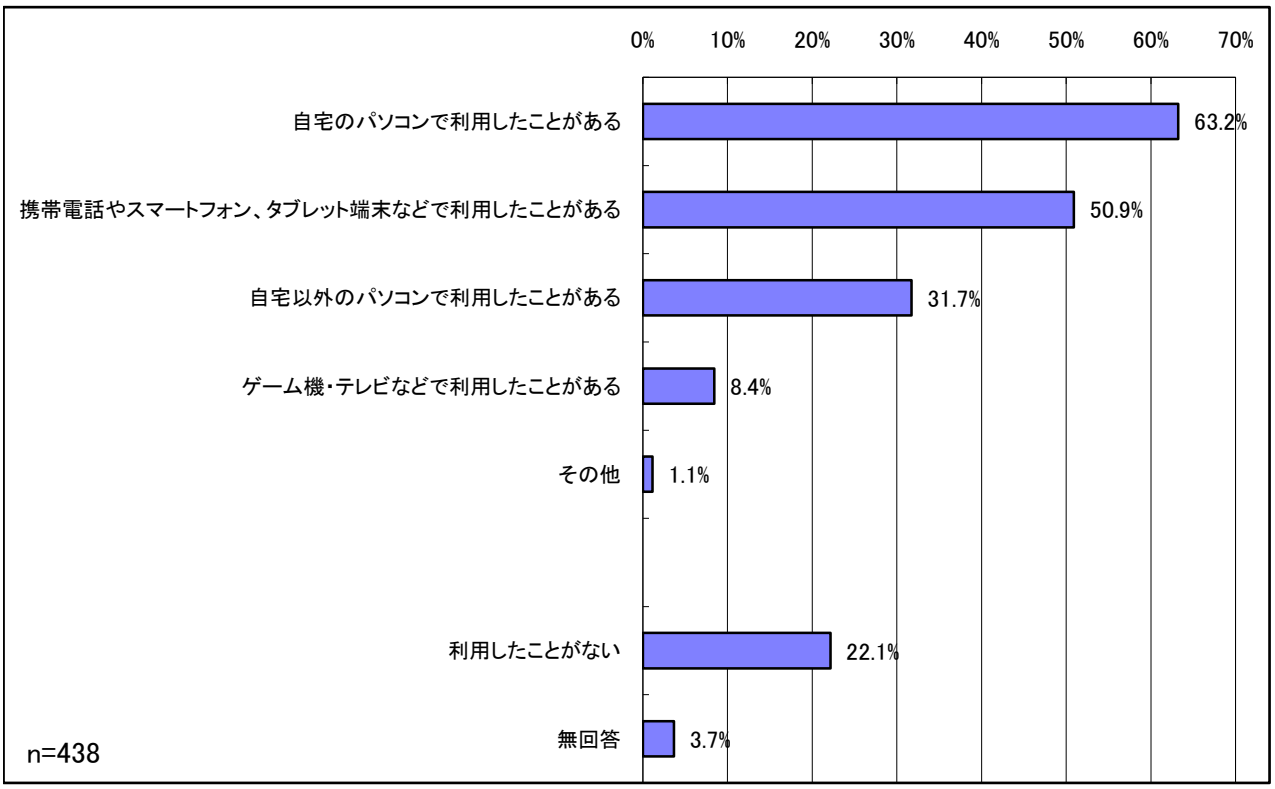
	1位	2位	3位	4位	5位
平成22年度	特に理由はないが、設置していない 39.7%	設置費用の負担が大きい 25.9%	設置が義務化されている事を知らなかった 自分で設置することは難しい 18.1%		設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない 17.2%
平成23年度	購入費用の負担が大きいから 26.0%	設置の義務化を知らなかったから 21.2%	借家のため自分で設置してよいのか分からないから（家主が付けてくれない） 17.3%	設置による効果が分からないから 設置方法が分からないから 9.6%	
平成25年度	設置の義務化を知らなかったから 25.0%	購入費用の負担が大きいから 借家のため自分で設置してよいのかわからないから（家主が付けてくれない） 17.1%		設置による効果がわからないから 設置方法がわからないから 設置箇所がわからないから 6.6%	
今回	設置の義務化を知らなかったから 25.0%	購入費用の負担が大きいから 21.3%	借家のため自分で設置してよいのかわからないから（家主が付けてくれない） 16.7%	設置による効果がわからないから 9.3%	購入方法がわからないから/設置箇所がわからないから 7.4%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。
※平成24年度は本項目の調査を行っていません。

＜インターネットの利用について＞

問26 あなたは、過去１年間にインターネットを利用したことがありますか。あなた自身が所有していない機器からの利用でも結構です。（○印はいくつでも）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
自宅のパソコンで利用したことがある	277	63.2%	1
携帯電話やスマートフォン、タブレット端末などで利用したことがある	223	50.9%	2
自宅以外のパソコンで利用したことがある	139	31.7%	3
ゲーム機・テレビなどで利用したことがある	37	8.4%	4
その他	5	1.1%	－
利用したことがない	97	22.1%	－
無回答	16	3.7%	－

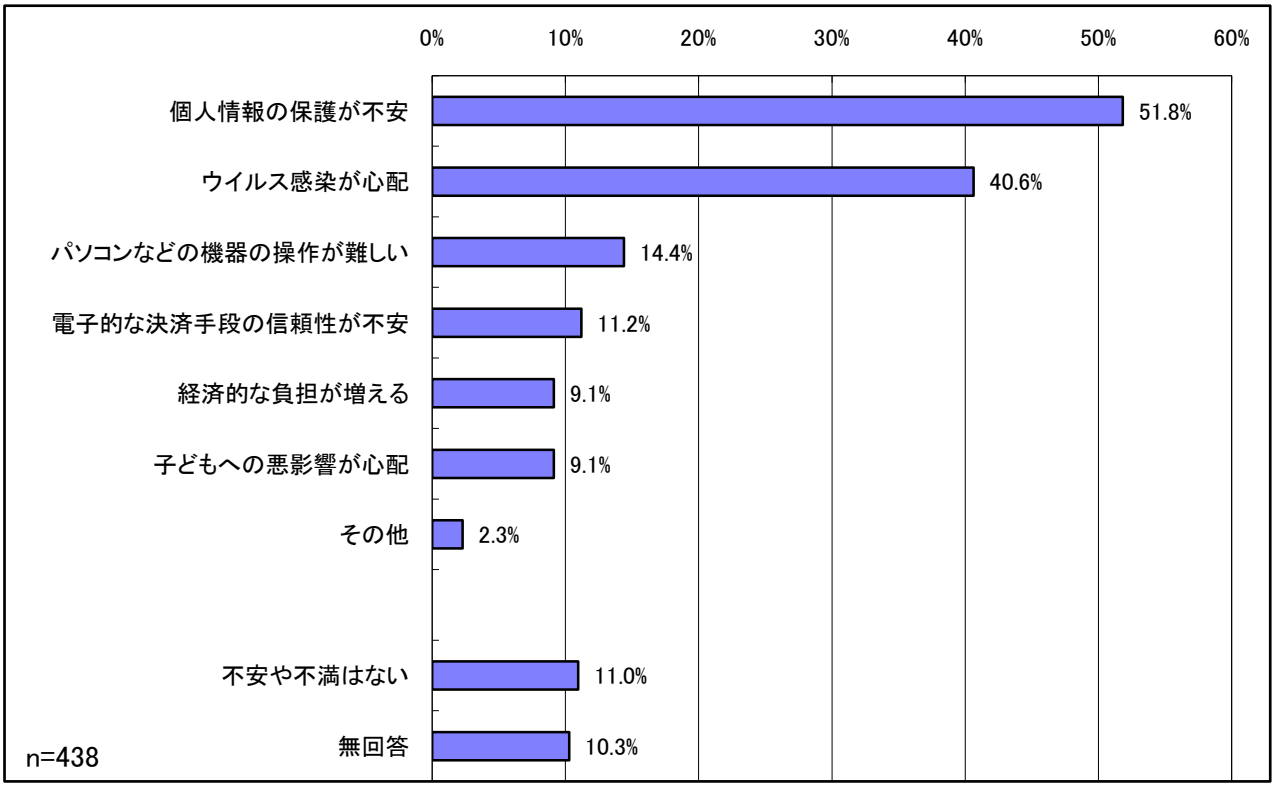


過去一年間にインターネットを利用したことがあるかたずねたところ「自宅のパソコンで利用したことがある」が63.2%、次いで「携帯電話やスマートフォン、タブレット端末などで利用したことがある」が50.9%「自宅以外のパソコンで利用したことがある」が31.7%となっています。

また、およそ75%の人が過去一年間にインターネットを利用したことがあると回答しています。

問27　インターネットを利用する上で不安や不満はありますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：438人	件数	割合	順位
個人情報の保護が不安	227	51.8%	1
ウイルス感染が心配	178	40.6%	2
パソコンなどの機器の操作が難しい	63	14.4%	3
電子的な決済手段の信頼性が不安	49	11.2%	4
経済的な負担が増える	40	9.1%	5
子どもへの悪影響が心配	40	9.1%	5
その他	10	2.3%	－
不安や不満はない	48	11.0%	－
無回答	45	10.3%	



インターネットを利用する上で不安や不満はあるかたずねたところ「個人情報の保護が不安」が51.8%、次いで「ウイルス感染が心配」が40.6%と、多くの人がインターネット上のトラブルを心配していることが伺えます。

また、およそ80%の人がインターネットを利用する上で不安や不満を感じていると回答しています。

【重点施策(重要度)】 ※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問28	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

１：重要である　２：どちらかといえば重要である　３：どちらともいえない
４：どちらかといえば重要ではない　５：重要ではない　６：わからない

（件）

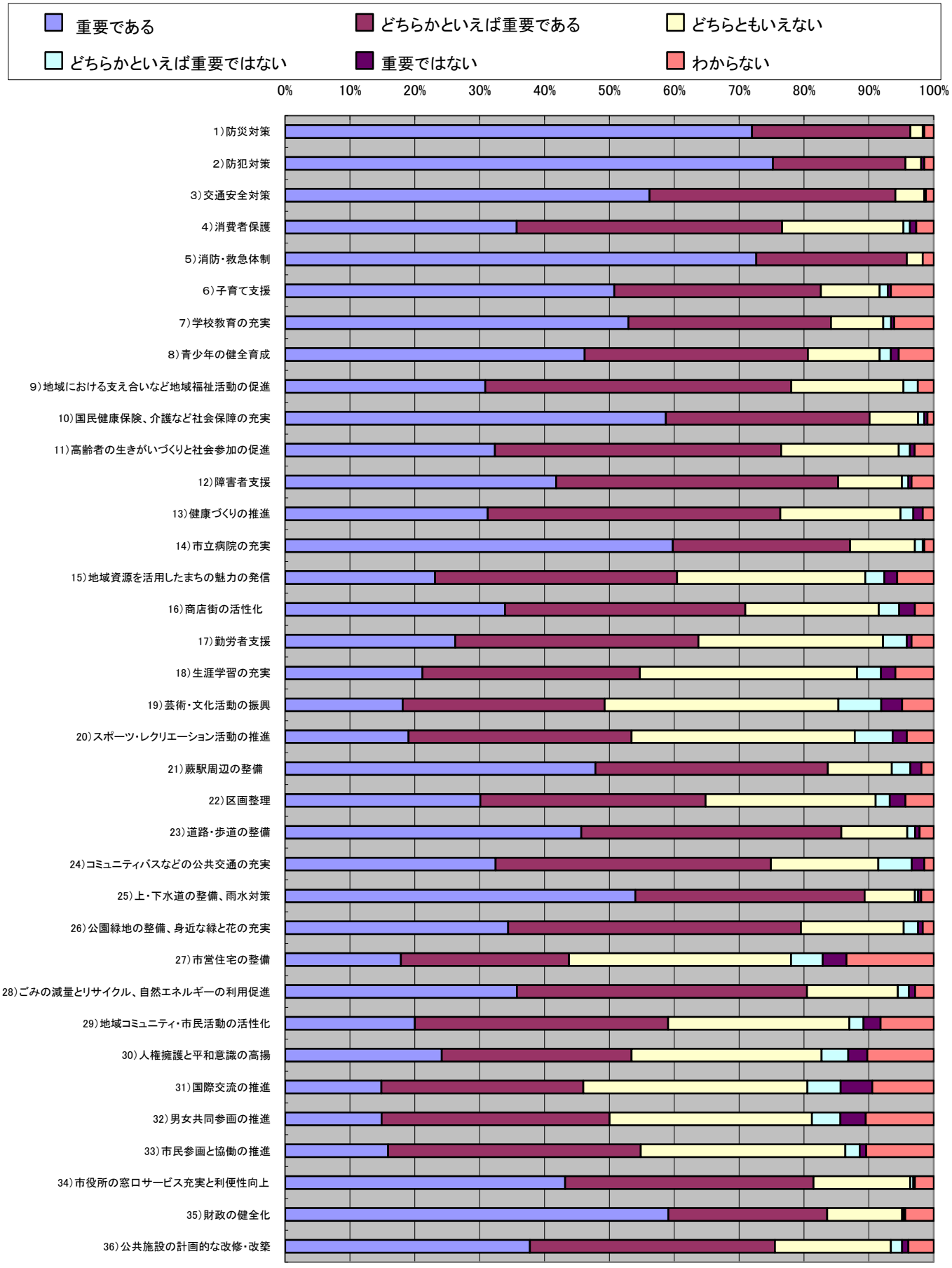
	1	2	3	4	5	6	平均値	（ ）内は昨年の順位
【安全で安心して暮らせるまち】								
１）防災対策	298	101	8	1	0	6	4.71	3(1)
２）防犯対策	309	84	10	0	2	6	4.72	1(2)
３）交通安全対策	228	154	18	1	0	5	4.52	4(5)
４）消費者保護	145	166	76	4	4	11	4.12	18(19)
５）消防・救急体制	297	95	10	0	0	7	4.71	2(1)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】								
６）子育て支援	207	130	37	5	2	27	4.40	10(11)
７）学校教育の充実	217	128	33	5	2	25	4.44	9(4)
８）青少年の健全育成	188	140	45	7	5	22	4.30	12(13)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】								
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	125	191	70	9	0	10	4.09	20(—)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	243	130	31	4	2	4	4.48	6(7)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	132	180	74	7	3	12	4.09	21(17)
12）障害者支援	170	177	40	4	2	14	4.30	13(16)
13）健康づくりの推進	128	185	76	8	6	7	4.04	22(12)
14）市立病院の充実	245	112	41	5	1	6	4.47	7(3)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】								
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	94	152	118	12	8	23	3.81	27(—)
16）商店街の活性化	140	153	85	13	10	12	4.00	24(20)
17）勤労者支援	107	153	116	15	3	14	3.88	26(—)
18）生涯学習の充実	86	136	136	15	9	24	3.72	31(25)
19）芸術・文化活動の振興	74	127	147	27	13	20	3.57	34(26)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	78	141	141	24	9	17	3.65	32(28)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】								
21）蕨駅周辺の整備	199	149	41	12	7	8	4.28	14(8)
22）区画整理	124	143	108	9	10	18	3.92	25(23)
23）道路・歩道の整備	189	166	42	5	3	9	4.32	11(10)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	133	174	68	21	8	6	4.00	23(18)
25）上・下水道の整備、雨水対策	223	146	32	2	2	8	4.45	8(6)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	141	185	65	9	3	7	4.12	19(15)
27）市営住宅の整備	73	106	140	20	15	55	3.57	35(32)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	148	185	58	7	4	12	4.16	16(9)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】								
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	83	162	116	9	11	34	3.78	28(30)
30）人権擁護と平和意識の高揚	99	120	120	17	12	42	3.75	29(—)
31）国際交流の推進	61	128	142	21	20	39	3.51	36(34)
32）男女共同参画の推進	61	144	128	18	16	43	3.59	33(33)
【その他】								
33）市民参画と協働の推進	64	157	127	9	4	42	3.74	30(31)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	177	157	61	2	1	12	4.27	15(—)
35）財政の健全化	241	100	47	1	1	18	4.48	5(—)
36）公共施設の計画的な改修・改築	154	154	73	7	4	16	4.14	17(21)

施策全体重要度平均	4.11

※ 平均値とは、選択肢「重要である」を5点、「どちらかといえば重要である」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点と数値化し、その加重平均のことを示します。平均値は1～5点の間となり、5点に近いほど「重要度が高い」と捉えます。

※ 新規の項目に関しては昨年の順位を(－)と表記してあります。

各施策の重要度


重要である
どちらかといえば重要である
どちらともいえない
どちらかといえば重要ではない
重要ではない
わからない
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策
2）防犯対策
3）交通安全対策
4）消費者保護
5）消防・救急体制
6）子育て支援
7）学校教育の充実
8）青少年の健全育成
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進
12）障害者支援
13）健康づくりの推進
14）市立病院の充実
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信
16）商店街の活性化
17）勤労者支援
18）生涯学習の充実
19）芸術・文化活動の振興
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進
21）蕨駅周辺の整備
22）区画整理
23）道路・歩道の整備
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実
25）上・下水道の整備、雨水対策
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実
27）市営住宅の整備
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化
30）人権擁護と平和意識の高揚
31）国際交流の推進
32）男女共同参画の推進
33）市民参画と協働の推進
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上
35）財政の健全化
36）公共施設の計画的な改修・改築

平均値順（重要度）

※各項目は上位３つ、下位３つの色を変えています。

※新規項目に関しては昨年の値を「－」と表記しています。　（参考）

	1	2	3	4	5	6	平均値	昨年	比較
２）防犯対策	309	84	10	0	2	6	4.72	4.53	0.19
５）消防・救急体制	297	95	10	0	0	7	4.71	4.56	0.15
１）防災対策	298	101	8	1	0	6	4.71	4.56	0.15
３）交通安全対策	228	154	18	1	0	5	4.52	4.31	0.21
35）財政の健全化	241	100	47	1	1	18	4.48	―	―
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	243	130	31	4	2	4	4.48	4.25	0.23
14）市立病院の充実	245	112	41	5	1	6	4.47	4.52	▲ 0.05
25）上・下水道の整備、雨水対策	223	146	32	2	2	8	4.45	4.30	0.15
７）学校教育の充実	217	128	33	5	2	25	4.44	4.35	0.09
６）子育て支援	207	130	37	5	2	27	4.40	4.16	0.24
23）道路・歩道の整備	189	166	42	5	3	9	4.32	4.24	0.08
８）青少年の健全育成	188	140	45	7	5	22	4.30	4.11	0.19
12）障害者支援	170	177	40	4	2	14	4.30	4.07	0.23
21）蕨駅周辺の整備	199	149	41	12	7	8	4.28	4.25	0.03
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	177	157	61	2	1	12	4.27	―	―
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	148	185	58	7	4	12	4.16	4.25	▲ 0.09
36）公共施設の計画的な改修・改築	154	154	73	7	4	16	4.14	3.89	0.25
４）消費者保護	145	166	76	4	4	11	4.12	3.96	0.16
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	141	185	65	9	3	7	4.12	4.07	0.05
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	125	191	70	9	0	10	4.09	―	―
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	132	180	74	7	3	12	4.09	4.04	0.05
13）健康づくりの推進	128	185	76	8	6	7	4.04	4.14	▲ 0.10
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	133	174	68	21	8	6	4.00	3.98	0.02
16）商店街の活性化	140	153	85	13	10	12	4.00	3.96	0.04
22）区画整理	124	143	108	9	10	18	3.92	3.86	0.06
17）勤労者支援	107	153	116	15	3	14	3.88	―	―
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	94	152	118	12	8	23	3.81	―	―
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	83	162	116	9	11	34	3.78	3.45	0.33
30）人権擁護と平和意識の高揚	99	120	120	17	12	42	3.75	―	―
33）市民参画と協働の推進	64	157	127	9	4	42	3.74	3.42	0.32
18）生涯学習の充実	86	136	136	15	9	24	3.72	3.81	▲ 0.09
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	78	141	141	24	9	17	3.65	3.63	0.02
32）男女共同参画の推進	61	144	128	18	16	43	3.59	3.25	0.34
19）芸術・文化活動の振興	74	127	147	27	13	20	3.57	3.72	▲ 0.15
27）市営住宅の整備	73	106	140	20	15	55	3.57	3.29	0.28
31）国際交流の推進	61	128	142	21	20	39	3.51	3.19	0.32
							施策重要度平均	4.11	4.00	0.11

●市民が重要と思う施策は、平均値からみると、1位「防犯対策」(前年2位)、2位「消防・救急体制」(前年1位)、3位「防災対策」(前年1位)となり、前年と同様に、【安全で安心して暮らせるまち】の分野が高位を占める結果になりました。それに対し、「国際交流の推進」、「市営住宅の整備」、「芸術・文化活動の振興」などの施策は、重要度が下位となっています。

【重点施策(満足度)】 ※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問28	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

１：満足している　２：どちらかといえば満足している　３：どちらともいえない
４：どちらかといえば満足していない　５：満足していない　６：わからない

（件）

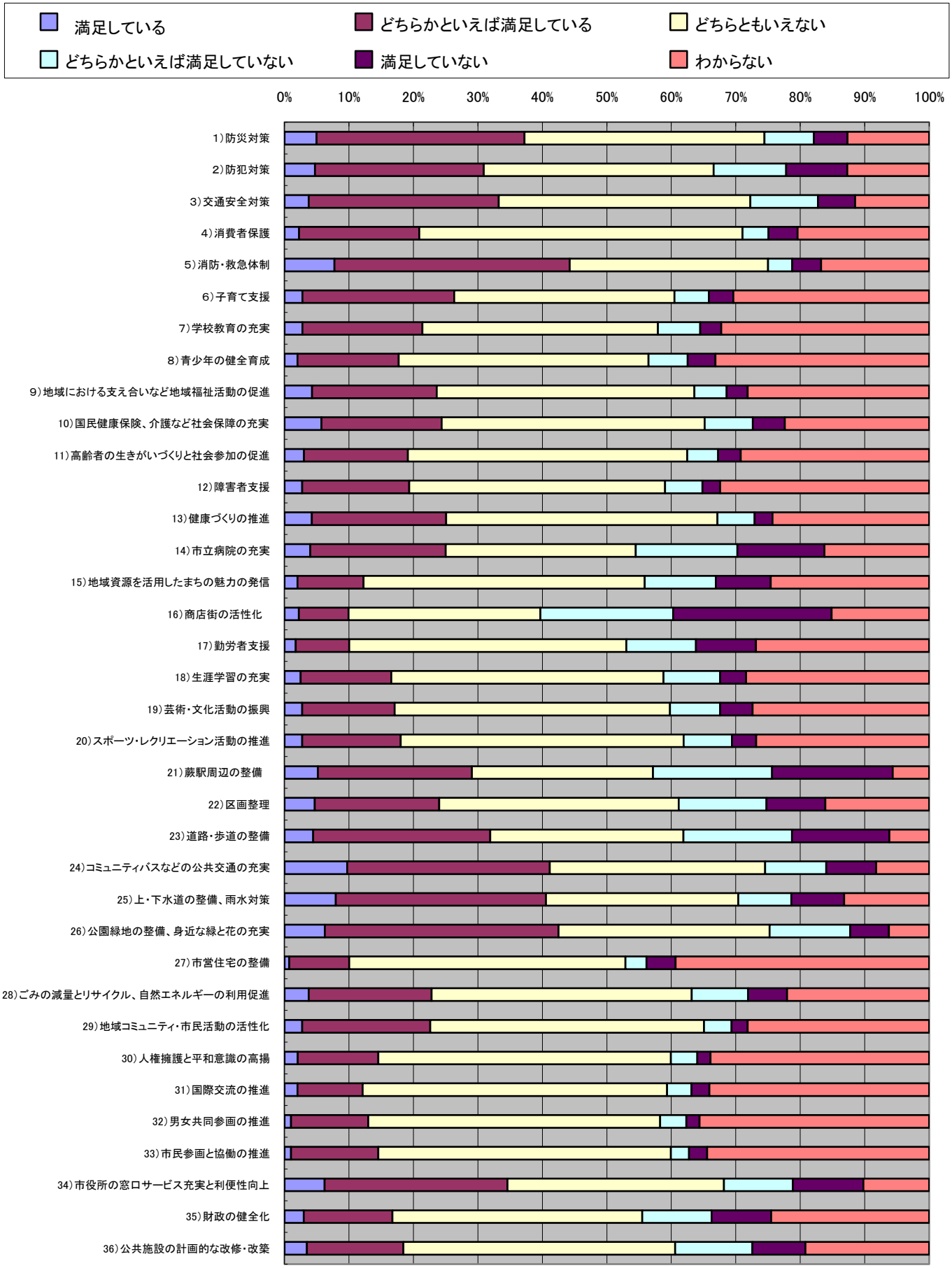
	1	2	3	4	5	6	平均値	（ ）内は昨年の順位
【安全で安心して暮らせるまち】								
１）防災対策	20	130	150	31	21	51	3.28	3(4)
２）防犯対策	19	105	143	45	38	51	3.06	24(23)
３）交通安全対策	15	118	156	42	23	46	3.17	10(18)
４）消費者保護	9	74	199	16	18	81	3.13	16(21)
５）消防・救急体制	31	146	123	15	18	67	3.47	1(4)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】								
６）子育て支援	11	93	135	21	15	120	3.23	7(1)
７）学校教育の充実	11	74	145	26	13	128	3.16	11(8)
８）青少年の健全育成	8	62	153	24	17	131	3.08	21(17)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】								
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	17	77	159	20	13	112	3.23	8(－)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	23	75	164	30	20	90	3.16	12(10)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	12	64	172	19	14	116	3.15	14(11)
12）障害者支援	11	66	158	23	11	129	3.16	13(14)
13）健康づくりの推進	17	83	168	23	11	97	3.24	6(15)
14）市立病院の充実	16	84	118	63	54	65	2.84	32(30)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】								
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	8	41	174	44	34	98	2.82	33(－)
16）商店街の活性化	9	31	120	83	99	61	2.32	36(34)
17）勤労者支援	7	33	171	43	37	107	2.76	35(－)
18）生涯学習の充実	10	56	168	35	16	113	3.03	25(12)
19）芸術・文化活動の振興	11	57	170	31	20	109	3.03	26(6)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	11	61	175	30	15	107	3.08	20(5)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】								
21）蕨駅周辺の整備	21	97	114	75	76	23	2.77	34(32)
22）区画整理	19	78	150	55	37	65	2.96	28(31)
23）道路・歩道の整備	18	111	121	68	61	25	2.89	30(22)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	39	126	134	38	31	33	3.28	2(3)
25）上・下水道の整備、雨水対策	32	131	120	33	33	53	3.28	4(9)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	25	145	131	50	24	25	3.26	5(19)
27）市営住宅の整備	3	37	171	13	18	157	2.98	27(24)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	15	76	161	35	24	88	3.07	22(7)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】								
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	11	79	169	17	10	112	3.22	9(2)
30）人権擁護と平和意識の高揚	8	49	178	16	8	133	3.13	15(－)
31）国際交流の推進	8	40	187	15	11	135	3.07	23(16)
32）男女共同参画の推進	4	47	178	16	8	140	3.09	19(13)
【その他】								
33）市民参画と協働の推進	4	53	178	11	11	135	3.11	17(20)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	25	114	135	43	44	41	3.09	18(－)
35）財政の健全化	12	55	155	43	37	98	2.87	31(－)
36）公共施設の計画的な改修・改築	14	60	169	48	33	77	2.92	29(33)

施策全体満足度平均	3.07

※ 平均値とは、選択肢「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば満足していない」を2点、「満足していない」を1点と数値化し、その加重平均のことを示します。平均値は1～5点の間となり、5点に近いほど「満足度が高い」と捉えます。

※ 新規の項目に関しては昨年の順位を(－)と表記してあります。

各施策の満足度


満足している
どちらかといえば満足している
どちらともいえない
どちらかといえば満足していない
満足していない
わからない
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策
2）防犯対策
3）交通安全対策
4）消費者保護
5）消防・救急体制
6）子育て支援
7）学校教育の充実
8）青少年の健全育成
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進
12）障害者支援
13）健康づくりの推進
14）市立病院の充実
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信
16）商店街の活性化
17）勤労者支援
18）生涯学習の充実
19）芸術・文化活動の振興
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進
21）蕨駅周辺の整備
22）区画整理
23）道路・歩道の整備
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実
25）上・下水道の整備、雨水対策
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実
27）市営住宅の整備
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化
30）人権擁護と平和意識の高揚
31）国際交流の推進
32）男女共同参画の推進
33）市民参画と協働の推進
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上
35）財政の健全化
36）公共施設の計画的な改修・改築

平均値順（満足度）

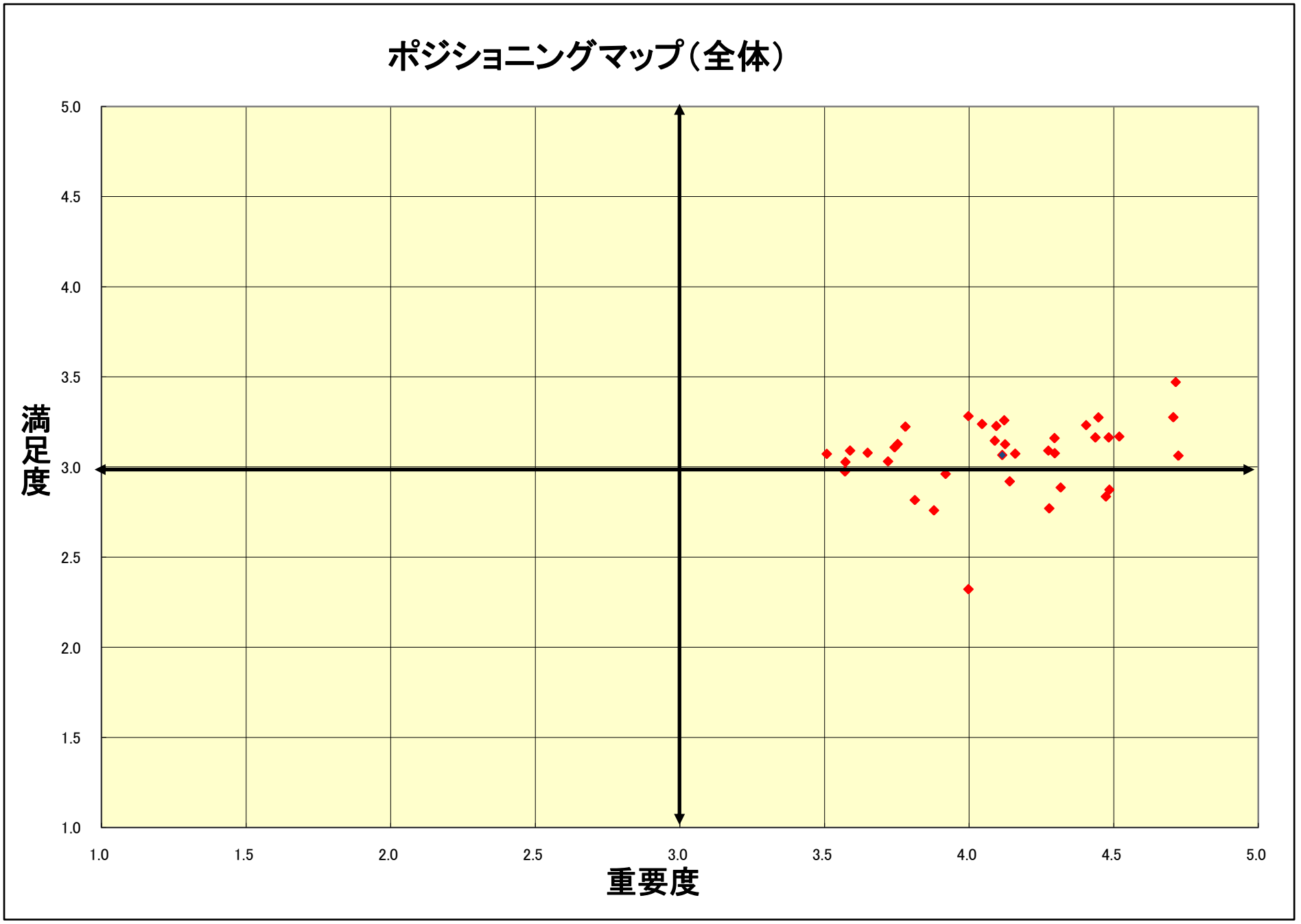
※各項目は上位３つ、下位３つの色を変えています。

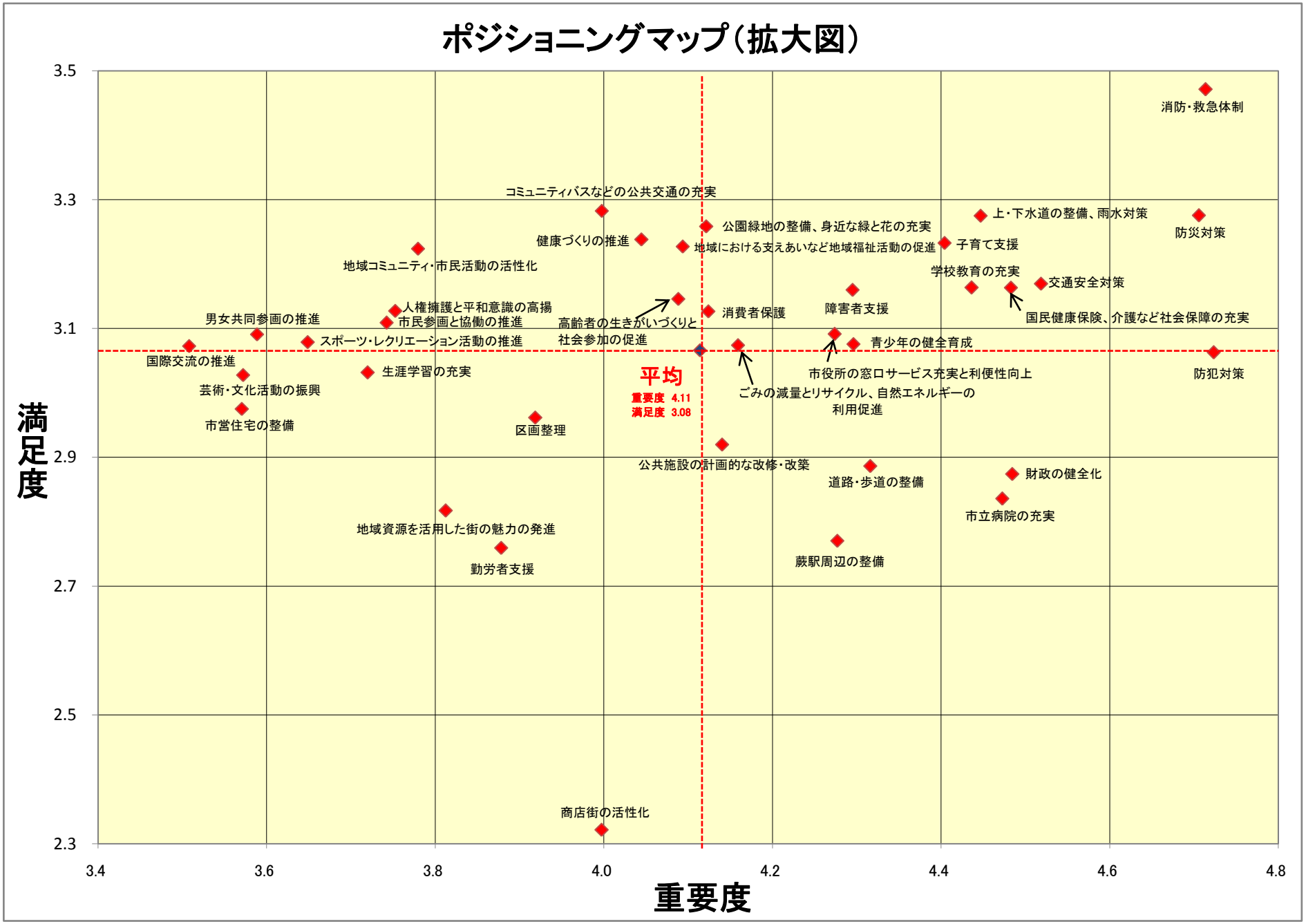
※新規項目に関しては昨年の値を「－」と表記しています。　（参考）

	1	2	3	4	5	6	平均値	昨年	比較
５）消防・救急体制	31	146	123	15	18	67	3.47	3.12	0.35
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	39	126	134	38	31	33	3.28	3.18	0.10
１）防災対策	20	130	150	31	21	51	3.28	3.12	0.16
25）上・下水道の整備、雨水対策	32	131	120	33	33	53	3.28	3.08	0.20
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	25	145	131	50	24	25	3.26	3.02	0.24
13）健康づくりの推進	17	83	168	23	11	97	3.24	3.05	0.19
６）子育て支援	11	93	135	21	15	120	3.23	3.28	▲ 0.05
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	17	77	159	20	13	112	3.23	－	－
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	11	79	169	17	10	112	3.22	3.19	0.03
３）交通安全対策	15	118	156	42	23	46	3.17	3.02	0.15
７）学校教育の充実	11	74	145	26	13	128	3.16	3.09	0.07
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	23	75	164	30	20	90	3.16	3.08	0.08
12）障害者支援	11	66	158	23	11	129	3.16	3.05	0.11
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	12	64	172	19	14	116	3.15	3.08	0.07
30）人権擁護と平和意識の高揚	8	49	178	16	8	133	3.13	－	－
４）消費者保護	9	74	199	16	18	81	3.13	2.96	0.17
33）市民参画と協働の推進	4	53	178	11	11	135	3.11	3.01	0.10
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	25	114	135	43	44	41	3.09	－	－
32）男女共同参画の推進	4	47	178	16	8	140	3.09	3.07	0.02
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	11	61	175	30	15	107	3.08	3.12	▲ 0.04
８）青少年の健全育成	8	62	153	24	17	131	3.08	3.04	0.04
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	15	76	161	35	24	88	3.07	3.11	▲ 0.04
31）国際交流の推進	8	40	187	15	11	135	3.07	3.05	0.02
２）防犯対策	19	105	143	45	38	51	3.06	2.85	0.21
18）生涯学習の充実	10	56	168	35	16	113	3.03	3.07	▲ 0.04
19）芸術・文化活動の振興	11	57	170	31	20	109	3.03	3.11	▲ 0.08
27）市営住宅の整備	3	37	171	13	18	157	2.98	2.84	0.14
22）区画整理	19	78	150	55	37	65	2.96	2.73	0.23
36）公共施設の計画的な改修・改築	14	60	169	48	33	77	2.92	2.67	0.25
23）道路・歩道の整備	18	111	121	68	61	25	2.89	2.89	▲ 0.00
35）財政の健全化	12	55	155	43	37	98	2.87	－	－
14）市立病院の充実	16	84	118	63	54	65	2.84	2.75	0.09
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	8	41	174	44	34	98	2.82	－	－
21）蕨駅周辺の整備	21	97	114	75	76	23	2.77	2.68	0.09
17）勤労者支援	7	33	171	43	37	107	2.76	－	－
16）商店街の活性化	9	31	120	83	99	61	2.32	2.27	0.05
						施策満足度平均	3.07	2.99	0.08

●市民の満足度が高い施策は、1位「消防・救急体制」(前年1位)、2位「コミュニティバスなどの公共交通の充実」(前年3位)、3位「防災対策」(前年1位)となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「勤労者支援」、「蕨駅周辺の整備」は、満足度が低くなっています。

なお、満足度は「わからない」という回答が全体に多く、直接かかわりのない市民にとっては、市の施策がよくわからない、効果が実感できないということが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、6「わからない」の割合が34%～39%に位置する「市営住宅の整備」、「男女共同参画の推進」、「市民参画と協働の推進」が挙げられます。

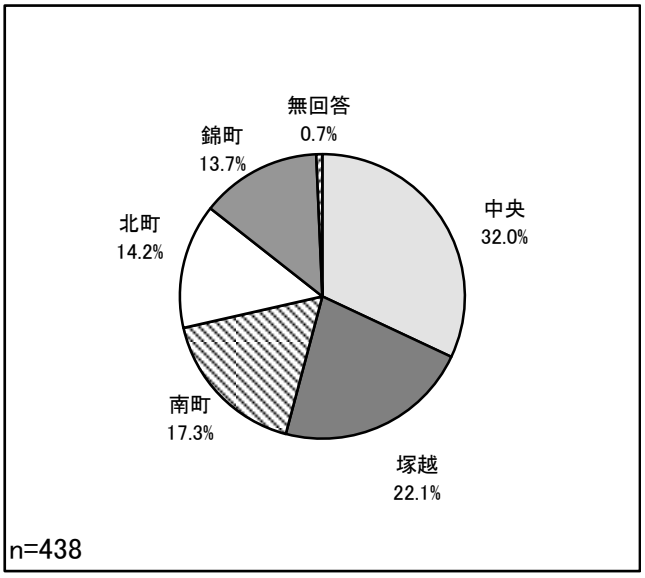

ポジショニングマップ（全体）
満足度
重要度
5.0
4.5
4.0
3.5
3.0
2.5
2.0
1.5
1.0
1.0
1.5
2.0
2.5
3.0
3.5
4.0
4.5
5.0


ポジショニングマップ（拡大図）
満足度
重要度
3.5
3.3
3.1
2.9
2.7
2.5
2.3
3.4
3.6
3.8
4.0
4.2
4.4
4.6
4.8
消防・救急体制
コミュニティバスなどの公共交通の充実
上・下水道の整備、雨水対策
防災対策
公園緑地の整備、身近な緑と花の充実
健康づくりの推進
地域における支えあいなど地域福祉活動の促進
子育て支援
地域コミュニティ・市民活動の活性化
学校教育の充実
交通安全対策
人権擁護と平和意識の高揚
障害者支援
消費者保護
国民健康保険、介護など社会保障の充実
男女共同参画の推進
市民参画と協働の推進
高齢者の生きがいづくりと
社会参加の促進
スポーツ・レクリエーション活動の推進
青少年の健全育成
国際交流の推進
防犯対策
平均
重要度 4.11
満足度 3.08
生涯学習の充実
市役所の窓口サービス充実と利便性向上
芸術・文化活動の振興
ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの
利用促進
市営住宅の整備
区画整理
公共施設の計画的な改修・改築
財政の健全化
道路・歩道の整備
市立病院の充実
地域資源を活用した街の魅力の発進
勤労者支援
蕨駅周辺の整備
商店街の活性化

【属　性】

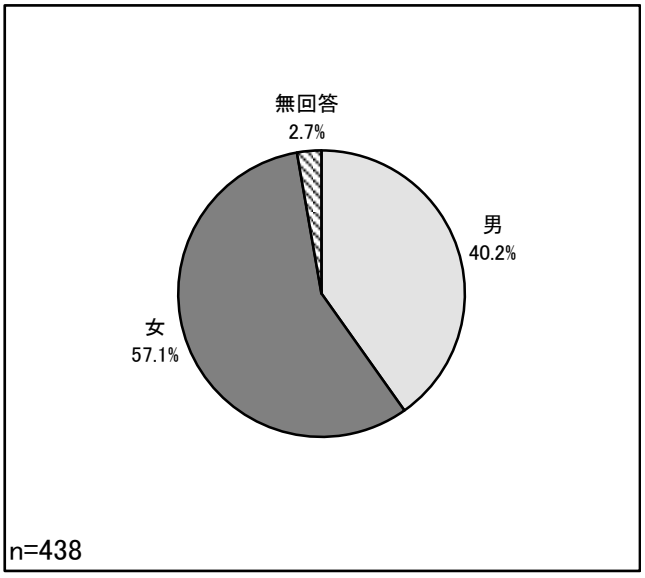
ア. 地区

回答対象者:438人	件数	割合	順位
中央	140	32.0%	1
塚越	97	22.1%	2
南町	76	17.3%	3
北町	62	14.2%	4
錦町	60	13.7%	5
無回答	3	0.7%	



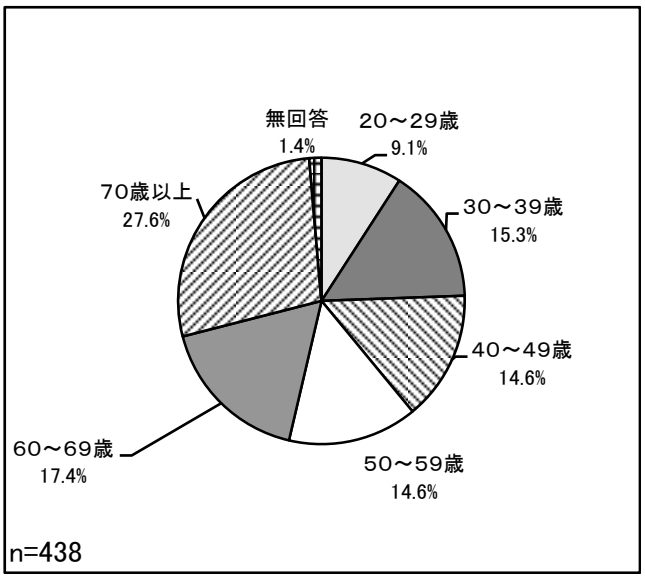
イ. 性別

回答対象者:438人	件数	割合
男	176	40.2%
女	250	57.1%
無回答	12	2.7%



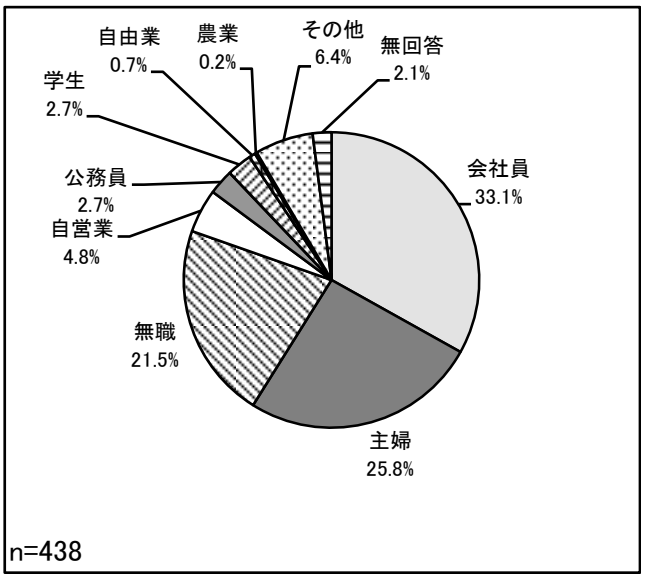
ウ. 年齢層

回答対象者:438人	件数	割合	順位
20～29歳	40	9.1%	6
30～39歳	67	15.3%	3
40～49歳	64	14.6%	4
50～59歳	64	14.6%	4
60～69歳	76	17.4%	2
70歳以上	121	27.6%	1
無回答	6	1.4%	



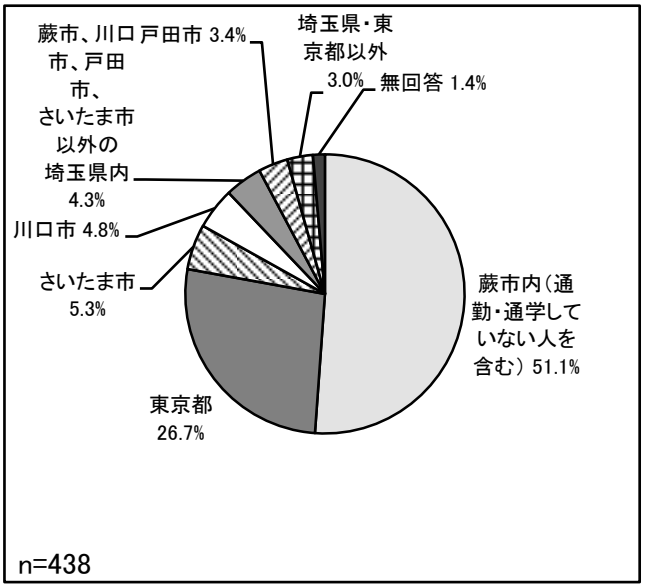
エ. 職業

回答対象者:438人	件数	割合	順位
会社員	145	33.1%	1
主婦	113	25.8%	2
無職	94	21.5%	3
自営業	21	4.8%	4
公務員	12	2.7%	5
学生	12	2.7%	5
自由業	3	0.7%	7
農業	1	0.2%	8
その他	28	6.4%	−
無回答	9	2.1%	



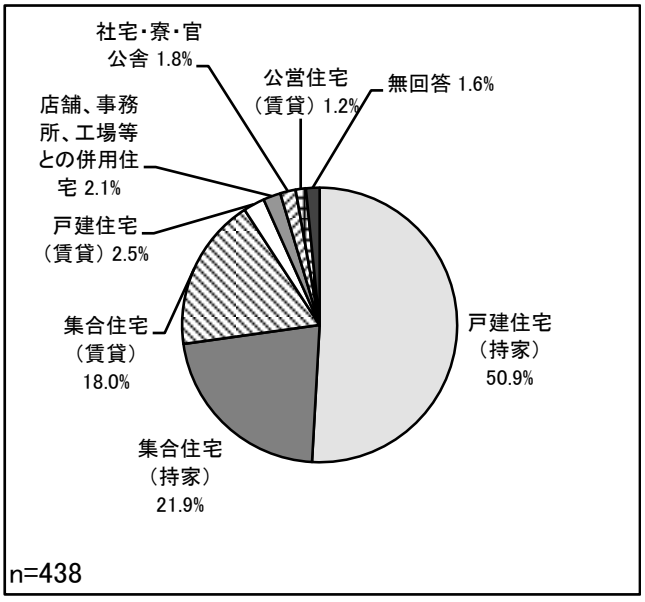
オ. 通勤・通学地

回答対象者:438人	件数	割合	順位
蕨市内(通勤・通学していない人を含む)	224	51.1%	1
東京都	117	26.7%	2
さいたま市	23	5.3%	3
川口市	21	4.8%	4
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	19	4.3%	5
戸田市	15	3.4%	6
埼玉県・東京都以外	13	3.0%	7
無回答	6	1.4%	



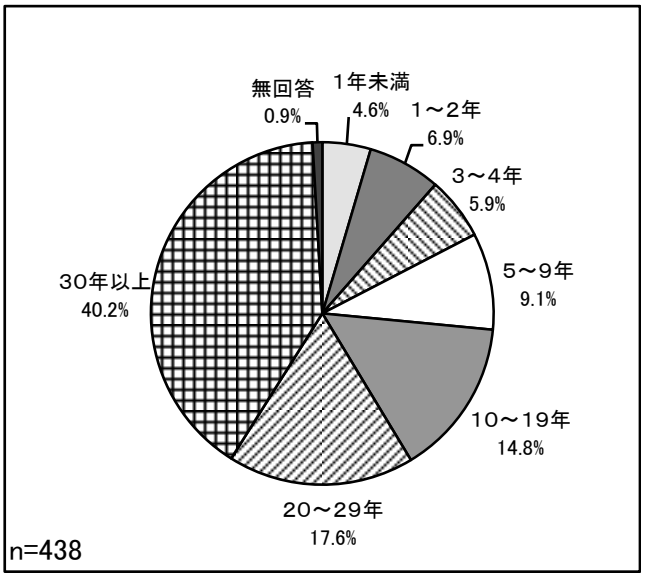
カ. 住宅形態

回答対象者:438人	件数	割合	順位
戸建住宅(持家)	223	50.9%	1
集合住宅(持家)	96	21.9%	2
集合住宅(賃貸)	79	18.0%	3
戸建住宅(賃貸)	11	2.5%	4
店舗、事務所、工場等との併用住宅	9	2.1%	5
社宅・寮・官公舎	8	1.8%	6
公営住宅(賃貸)	5	1.2%	7
無回答	7	1.6%	



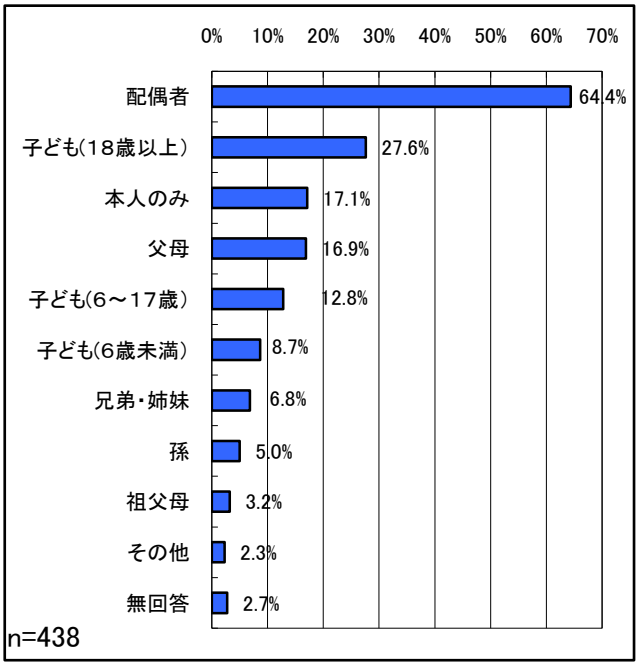
キ. 居住年数

回答対象者:438人	件数	割合	順位
1年未満	20	4.6%	7
1～2年	30	6.9%	5
3～4年	26	5.9%	6
5～9年	40	9.1%	4
10～19年	65	14.8%	3
20～29年	77	17.6%	2
30年以上	176	40.2%	1
無回答	4	0.9%	



ク. 家族構成

回答対象者:438人	件数	割合	順位
配偶者	282	64.4%	1
子ども(18歳以上)	121	27.6%	2
本人のみ	75	17.1%	3
父母	74	16.9%	4
子ども(6～17歳)	56	12.8%	5
子ども(6歳未満)	38	8.7%	6
兄弟・姉妹	30	6.8%	7
孫	22	5.0%	8
祖父母	14	3.2%	9
その他	10	2.3%	－
無回答	12	2.7%	



平成２６年度市民意識調査報告書

平成26年11月発行

発　行　　蕨 市
編　集　　蕨市総務部政策企画室

〒335－8501 蕨市中央5－14－15
電　話　048－433－7698
E-Mail　seisaku@city.warabi.saitama.jp